



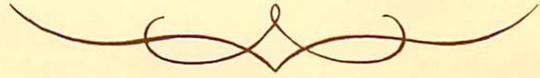
大阪臨床整形外科医会会報

The Journal
of
The Osaka Clinical
Orthopaedic Association



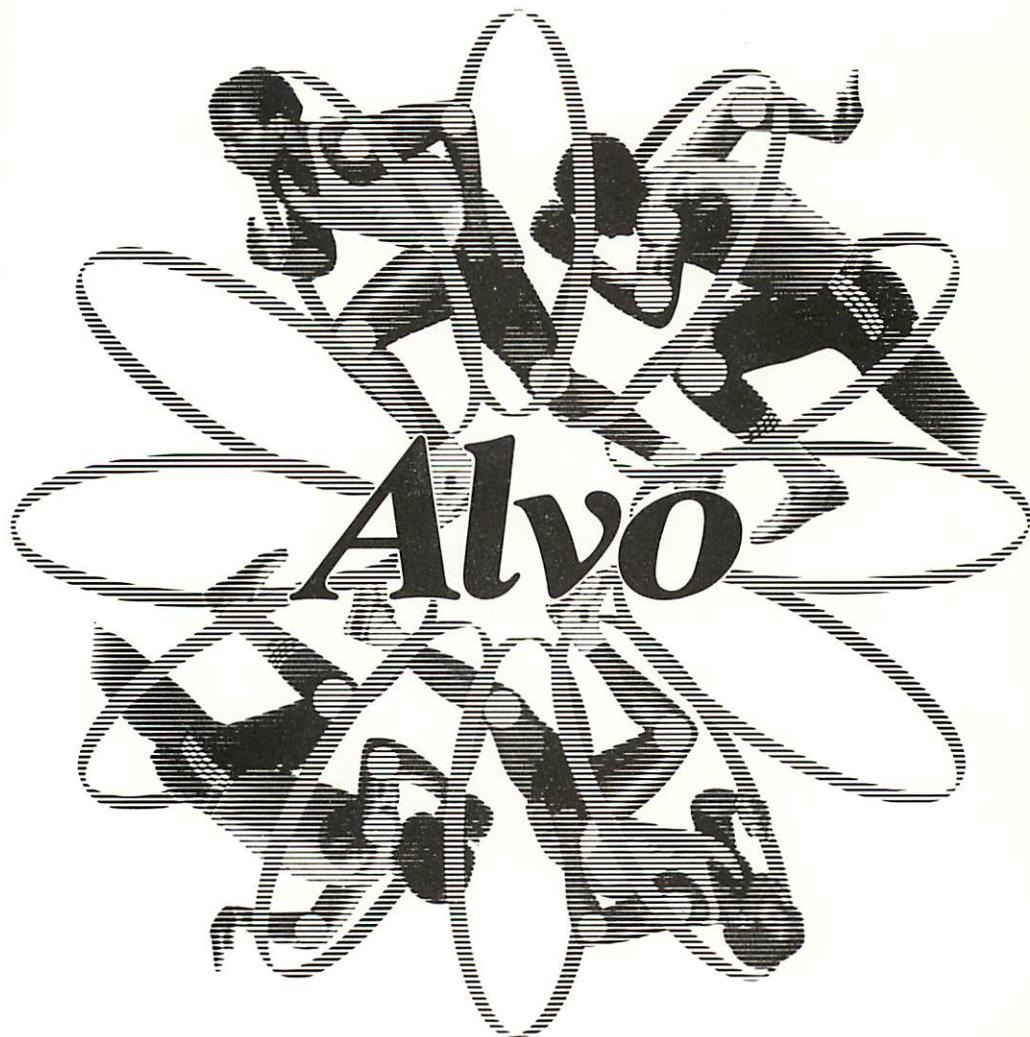
第4号

昭和61年5月



立ち上りの良い新持続型抗炎症剤

慢性関節リウマチに24時間効果



効能・効果

- 下記疾患並びに症状の消炎・鎮痛
慢性関節リウマチ・変形性関節症・腰痛症・変形性
脊椎症・頸肩腕症候群・肩関節周囲炎・痛風発作
- 外傷後及び手術後の消炎・鎮痛

用法・用量

通常、成人にはオキサプロジンとして、1日量400mgを
1～2回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日最高量は
600mgとする。

※ご使用の際は製品添付文書の使用上の注意をご覧ください。

新発売

持続性消炎・鎮痛剤

**アルボ[®] 100
200**

オキサプロジン錠 (劇) 指



大正製薬株式会社

〒171 東京都豊島区高田3-24-1 TEL (03)985-1111

大阪臨床整形外科医会会報第4号目次

巻頭言	吉田正和	1
OCOA総会報告	第9回OCOA定時総会		2
諸会議の報告	I 昭和61年第1回JCOA各県代表者会議	坂本徳成	8
	II 臨時JCOA近畿ブロック会	三橋二良	12
	III 第10回JCOA近畿ブロック会	三橋二良	12
	IV 日整会評議委員会	伊藤成幸	13
	V 大阪府医師会医学会運営委員会	吉田正和	14
研修会報告	『足の痛み』 大阪市立大学 整形外科教授	島津 晃	15
論 説	Cure と Care	越宗整形外科病院 越宗 正	17
新役員の抱負	会の発展のために	木佐貫一成	19
	ご挨拶	古賀教一郎	19
	自己紹介	長田 明	20
	抱 負	服部良治	21
会員の声	HAWAIIAN OPENに参加して	八幡医院 八幡雅志	22
	雑 談	中嶋整形外科 中嶋博幸	23
	登山・サッカー	奥田整形外科 奥田好彦	25
厚生部だより	村上白土・河合秀郎・古賀教一郎	26
	昭和61年度厚生部事業計画			
	第2回OCOA親睦旅行の報告	古賀教一郎	27
	秋のJCOA宇都宮研修会へご参加を	荻原整形外科病院 荻原一輝	29
OCOA理事会議事録			30
会員名簿補追			32
お知らせ	学術研修会(1)(2)			
	OCOA第3回症例検討会	大橋規男・服部良治	33
	第10回OCOA総会及び研修会		33
編集後記			34



巻 頭 言

大阪臨床整形外科医会

副会長 吉 田 正 和

本会が、会員諸先生方の絶えざる御努力によりまして、諸事業も順調に進展し会員も増加し、会員中から学会・医師会・協会・基金審査等各方面の重要ポストに就かれる先生も次第に増え、めざましい発展を示しつつあるのは、まことに嬉しい限りです。

私たち医師は皆、自分の職責に高い誇りを持ち、かけがえなく尊い「人間の生命と健康」を守り増進せしめることが責務であるからこそ、私たちの仕事の尊さ・重さの確信を胸に秘めて、毎日一生懸命に努力を続けています。そしてそのためにも、各人の正しく深い医学知識と高い医療技術と優れた教養・人格が必須であると自覚して居ります。

しかし一方で、これらを現実の社会の中で生かして用い、最大の効果を発揮させるためには、周囲の種々な社会的条件が良く整えられなければならない、この両面が揃わなければ何も成り立たないことをも知っています。

それ故、私たちはO C O A・J C O Aに結集して、お互いに磨き合い高め合って前者をより一層すぐれさせようとすると共に、後者の悪条件を一步一步改善しようと努めて参りました。

しかしながらこの数年、これまでは単純に信じられてきた、医学・医療の進歩発展が人間の幸福にそのままつながるものであろうことに対して、社会・経済・倫理的諸側面の問題をも絡めて、著しい不信感が喧伝されつゝあります。しかも近年、核軍備が人類を含む総ての生命を滅ぼし尽くす怖れが生じ、また産業・交通・都市公害が環境と生存をおびやかす実態も明らかになるにつれて、自然科学の発達そのものが人類の平和な未来を切り開くものかどうかの疑念さえも、世界的に強く抱かれるようになりました。

今や、医の本質が問われ、私たちに対しては医師不信と共に医師としての資質向上を要求するのが世論とされているようです。その一方で政治不信の声もまた大なるものがあります。

その上に、政府の福祉・医療締めつけ方針はいよいよ厳しく、私たち開業整形外科医の身边にも沢山の困難な問題が山積する現状ですが、それでも決して後向き姿勢にならずに、会内ではお互いの研鑽・親睦・協力を一層進めながら、外に向かっても、医学・医療・医政等の面において整形外科医の權益擁護についての正しく強い主張を行なうと共に、私たちに共通の究極目的は全人類が健康で平和な生活を営めるにあると言うことをも常に忘れずに、広い視野をもって、福祉と平和を守り人々の生活環境の整備・学校や職場環境条件の向上・自然環境の保護等をも進める政策・政治が行なわれるかどうかにも、しっかり眼を凝らせて対応して行く必要があろうと思います。

本会の一層の発展と、会員諸先生のますますの御健闘を心から期待いたします。

第9回大阪臨床整形外科医会定時総会及び研修会

日時 昭和60年12月7日(土)

場所 レストランパレス ラ・クール(新阪急ビル12階)

○ 総会	午後 3:00～4:00	
1. 開会宣言		司会 村上理事
2. 会長挨拶		坂本会長
3. 議長選出		松尾先生
4. 議事		
第1号議案	昭和60年度事業報告について承認を求める件。	三橋副会長
第2号議案	昭和60年度会計報告について承認を求める件。	山本理事
第3号議案	昭和61年度事業計画について承認を求める件。	吉田副会長
第4号議案	昭和61年度収支予算案について承認を求める件。	山本理事
第5号議案	OCOA会則変更について承認を求める件。	坂本会長
第6号議案	昭和61年度役員選出について承認を求める件	三橋副会長
5. 新役員の紹介と挨拶		坂本会長
6. 閉会宣言		吉田副会長
○ 研修会	午後 4:00～5:50	
		座長 吉田副会長
	講演 「足の痛みについて」	
	大阪市大整形外科教授 島津晃先生	
	(日整会教育研修会認定1単位 受講料 2,000円)	
○ 懇親会	午後 6:00～7:30	
		司会 河合理事

昭和60年度OCOA定時総会と研修会は、定刻を少し過ぎて約80名の出席を得て、上記の会次第に従って盛会に行われました。

会長挨拶ではこの一年を振り返って我々開業整形外科をとりまく厳しい情勢分析と、それに対処するためには医療に関する研修はもとより、数字にも明かるく、又多くの情報の収集伝達の重要性を強調されました。

議事に入り第1～4号議案は型の如く承認されました。第5号議案ではJCOAの役員任期が2年から3年に変更されたのを機に、OCOAでもこれに合わせて役員任期を3年とし、他にも一部会則の変更が上呈され承認されました。

新しいOCOA会則は、会員名簿と合冊で本年4月に発行致しております。続いて任期3年の新役員が新進の若手理事を加えて選出承認されました。

研修会に入り、大阪市大整形外科、島津晃教授の「足の痛みについて」の講演は、明日からの日常診療に即役立つ濃い内容を、わかりやすく解説いただき、100名をこえる満席の会員諸氏に多大の感銘を与えました。(講演要旨は15頁)

懇親会は河合理事の名司会で終始賑々しく会員親睦の実をあげる事が出来ました。

尚、今総会は大正製薬K.Kの御後援をいただきました。深謝致します。

I 昭和60年度O C O A事業報告

1) 会 員 状 況

期首 (59. 12. 1) 109 名 期末 129 名

2) 会 議 開 催 状 況 (59. 12. 1 ~ 60. 11. 30)

① 総会 O C O A 定時総会 (59. 12. 1) 於大阪メジカルホール

② 定例理事会 6 回 出席役員 延合計 58 名

③ その他諸会議出席状況

60. 1. 21	大阪府医師会医学会運営委員会	於大阪府医
60. 2. 3	J C O A 広報委員会	於大阪
60. 2. 25	大阪府医師会医学会運営委員会	於大阪府医
60. 3. 9	J C O A 近畿ブロック会議	於和歌山白浜
60. 3. 17	第 1 回 J C O A 各県代表者会議	於東京
60. 3. 25	大阪府医師会医学会運営委員会	於大阪府
60. 4. 7	J C O A 各県代表者会議	於岐阜会館
60. 4. 7	J C O A 総会	於岐阜会館
60. 4. 22	大阪府医師会医学会運営委員会	於大阪府医
60. 5. 12	第 3 回 O C O A 春のゴルフコンペ	於瀬田ゴルフ
60. 5. 26	J C O A 福祉企画委員会	於大阪
60. 5. 27	大阪府医師会医学会運営委員会	於大阪府医
60. 6. 30	J C O A 保険懇談会	於東京
60. 6. 15	O C O A 第 2 回症例検討会	於大阪メジカルホール
60. 6. 24	大阪府医師会医学会運営委員会	於大阪府医
60. 7. 6	J C O A 文化広報委員会	於東京
60. 7. 22	大阪府医師会医学会運営委員会	於大阪府医
60. 8. 26	大阪府医師会医学会運営委員会	於大阪府医
60. 9. 7	J C O A 近畿ブロック会	於全日空シエラトンホテル
60. 9. 8	J C O A 近畿ブロック会 懇親ゴルフコンペ	於城陽 G.C
60. 9. 14	J C O A 各県代表者会議	於横浜
60. 9. 14 ~ 16	J C O A 研修会	於横浜
60. 9. 14	保険懇談会	於横浜
60. 9. 30	大阪府医師会医学会運営委員会	於大阪府医
60. 10. 13	第 4 回 O C O A ゴルフコンペ	於竜王 G.C
60. 10. 21	大阪府医師会医学会運営委員会	於大阪府医
60. 11. 9. 10	O C O A 秋の親睦旅行	於白浜
60. 11. 10	O C O A 親睦ゴルフコンペ	於白浜平草原
60. 11. 10	大阪府医師会医学会総会	於 Y M C A 会館
60. 11. 10	医学会評議委員会	於 Y M C A 会館
60. 11. 17	J C O A 福祉企画委員会	於大阪
60. 11. 23. 24	J C O A 文化広報委員会	於東京
60. 11. 25	大阪府医師会医学会運営委員会	於大阪府医

60. 12. 1 全国保険審査委員会 於東京
60. 12. 7 OCOA総会 於レストランパレス ラ・クール
- 3) 研 修 会
60. 3. 9 「最近の脊椎外科の進歩」
奈良医大講師 岩崎 洋明先生 於ホテル南海
60. 5. 8 「整形外科分野におけるプライマリーケアについて」
JCOA副会長 高山 瑩先生 於大阪商工会議所
60. 6. 15 「最近の保険審査の状況について」
大阪府社会保険審査委員 津田 精一先生 於大阪メジカルホール
60. 12. 7 「足の痛みについて」
大阪市大整形外科教授 島津 晃先生 於レストランパレス ラ・クール
- 4) 大阪臨床整形外科医会会報
第2号 発刊 60. 4. 30
第3号 発刊 60. 11. 30



Ⅱ 昭和60年度会計報告

大阪臨床整形外科医会収支報告書

期間 自 昭和59年11月1日
至 昭和60年10月30日

収支計算書並びに貸借対照表を作成し御報告申し上げます。

会計 馬場貞夫
山本光男

1) 大阪臨床整形外科医会

前期繰越金	1,197,463
今期収益金	61,511
	<hr/>
	1,258,974

2) 大阪臨床整形外科医会貸借対照表

昭和60年11月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
現 金	21,734	前期繰越金	1,197,463
普通預金	757,240	未払金 (近畿ブロック1万、大阪単科1万)	20,000
定期預金	500,000	支出引当金	61,511
計	1,278,974	計	1,278,974

3) 大阪臨床整形外科医会 昭和60年度会費納入状況
会員 128名 1,540,000円

4) 大阪臨床整形外科医会収支計算書

自 昭和59年11月1日
至 昭和60年10月31日

支 出		収 入	
日本臨床整形外科医会費 (128名)	512,000	年会費 (60年度分 128名)	1,540,000
近畿ブロック会費	10,000	府医師会医会補助金	50,000
大阪府単科医会会費	10,000	OCOA学術振興基金	140,000
事務費	120,000	寄付金	30,000
OCOA会誌2号	218,000	日整会認定医研修 会補助金	120,000
通信印刷費	66,320	会誌2号OCOA広告代 (大正、中外、大日本、 日本化薬)	10,367
役員出張費	174,200	預金利息	
役員交通費	93,000		
会議費	21,836		
JCOA学術振興基金	300,000		
講演原稿料	90,000		
慶弔費	23,500		
収益金	61,511		
計	1,890,367	計	1,890,367

Ⅲ 昭和61年度事業計画

- 研 修 会
61年3月、5月、10月、12月の年4回開催予定
(いずれも日整会認定医教育研修会として認定単位がとれるように配慮されています)
- OCOA会報(第4号、第5号)発刊予定
- 厚 生 部
 - 1) 第5回ゴルフコンペ(春)
61年5月11日(日) 瀬田ゴルフコース
 - 2) 第6回ゴルフコンペ(秋)
61年11月16日(日) 竜王カントリークラブ
 - 3) 第3回会員懇親一泊旅行
61年8月23日(土) 有馬温泉
- 症例検討会の開催
61年5～6月頃予定
- JCOA各県代表者会議その他会議出席

Ⅳ 昭和61年度収支予算

(収入の部)

会 費	1,680,000	(12,000×140)
寄附及び広告収入	200,000	
受 取 利 息	22,500	
繰 越 金	1,258,974	
<hr/>		
合 計	3,161,474	

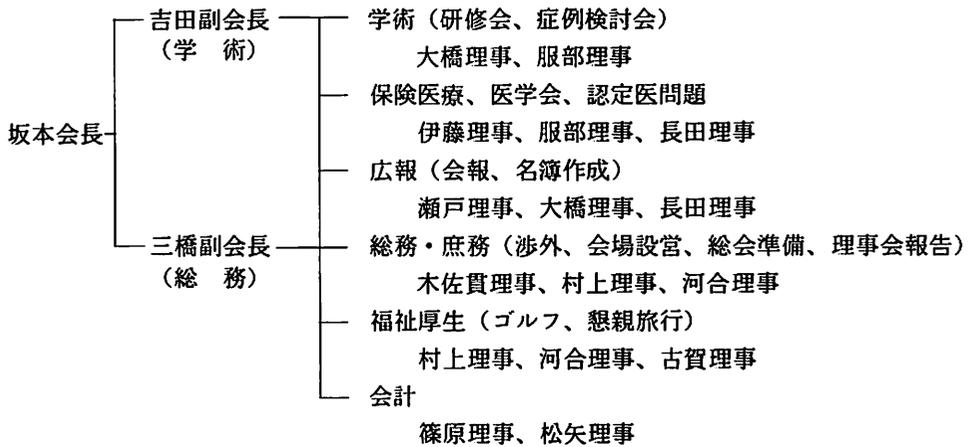
(支出の部)

会 議 費	900,000	
<hr/>		
	総 会 費	300,000
	研 修 会 費	600,000
分 担 金	860,000	
<hr/>		
	日本臨床整形会費	840,000 (6,000×140)
	近畿ブロック会費	10,000
	大阪府単科医科会費	10,000
需 要 費	720,000	
<hr/>		
	事 務 費	120,000
	印 刷 費	100,000
	通 信 費	100,000
	OCO A 会報	500,000
交 通 費	350,000	
<hr/>		
	役 員 出 務 費	100,000
	役 員 出 張 費	250,000
予 備 費	231,474	
<hr/>		
合 計	3,161,474	

昭和61年度O C O A役員名簿

	顧問					
副会長	会長	理事	理事	理事	理事	
副議長	議長	副議長	副議長	副議長	副議長	
			越 越 稲 稲 坂 坂 吉 吉 三 三 伊 伊 大 大 河 河 木 木 古 古 篠 篠 瀬 瀬 村 村 長 長 松 松 村 村 服 服 本 本 原 原 松 松 安 安	宗 宗 松 松 本 本 田 田 橋 橋 藤 藤 橋 橋 合 合 貫 貫 賀 賀 原 原 戸 戸 田 田 矢 矢 上 上 部 部 田 田 尾 尾 藤 藤	德 德 正 正 二 二 成 成 規 規 秀 秀 一 一 教 教 良 良 信 信 浩 浩 白 白 良 良 寅 寅 省 省 澄 澄	正 正 滋 滋 成 成 和 和 良 良 幸 幸 男 男 郎 郎 成 成 郎 郎 洋 洋 夫 夫 明 明 司 司 士 士 治 治 郎 郎 吾 吾 正 正 晃 晃

理事役割分担



I 日本臨床整形外科医会（昭和61年第1回）各県代表者会議

日 時 昭和61年3月9日（日） 10：00～16：00

場 所 東京都医業健保会館

会長 坂 本 徳 成

上記の日時、場所において中村議長、志賀副議長のもと、三木会長の御挨拶から下記の如くすゝめられた。

1) 報 告 事 項

(1) 昭和60年事業報告（資料1参照）

(2) 理事会報告

2) 議 事

(1) 昭和60年決算の承認を求める件（資料2）参照）

(2) 新役員の選出（施行細則7条）

会 長 三木 仁（愛媛）

副会長 谷口元一（静岡）、高山 登
（東京）

理 事 松田嘉博（北海道）、伊藤三郎
（東北）、三橋 稔、高瀬住久、
高橋 昭（関東）、大成清一郎、
三井貞三（中部）、岩井浅二、
吉良貞伸（近畿）、薬師寺廓磨、
高尾 達（四国）、日高達郎、
山口 守（九州）

監 事 細野 惶（北海道）、大谷俊彦
（広島）

3) 協 議 事 項

(1) 日本臨床整形外科医会学会設立の件

① 臨床医のみの日整会にない学会を設けたい。

② 現在、年に一度研修会が開かれているが、学会と研修会とはニュアンスが違うので、学術団体として登録する必要がある。現在、日整会の関連学会は35に及ぶ。学術委員会を作り前向に検討。

(2) 自賠責保険に関する件

JCOA会員によるアンケートの結果

1. 東京海上火災

2. 安田火災

3. 富士火災

4. 大東京火災

5. 日本火災

の5社が、自賠責保険の支払を困らせるワースト5であり、御参考までに報告。

① 日医の通達により、各都道府県医師会に労災、自賠責委員会が設置されている。

② 厚生省、日医、損保会社及びリサーチ会社で協定書が作成され、各医師会へ配布。

藤野理事より 大蔵省も加わって料金統一の動きあり。

③ 日本賠償医学会（弁護士、法医の医師、損保会社）に対する対策。

(3) 柔道整復師会との懇談と名簿配布について（資料3）参照）

① 柔道整復師によるオーヴァーラン的な医療行為が多発するため、JCOAより柔道整復師会へ抗議文を送り、別紙のような回答と柔道整復師の名簿の提出があった。

② 全国に14の柔道整復師学校があり高卒後、2～3年で柔道整復師となる。その数は整形外科医の比ではなく、今後多大の問題となろう。

③ 例えば、京都府において、針灸学院より厚生省へ柔道整復師の増設が申請されたが、京都臨床整形外科医会より、厚生大臣、府知事、中央審査委員会へ反対を表明したところ、増設は却下された。むやみな増設には臨床整形外科医

会の名で反対すべきである。

- ㊟ 又、「カイロの安全性と有効性について」日整会の学会あり方委員会が、日整会脊椎外科研究会へアンケートを依頼したところ、「有効性は認められない。むしろ有害である。」との答申を得たため、日整会より厚生省へ報告。
- ㊤ 各都道府県に、針灸柔整施療審議会がある。大阪にもあるとすれば、O C O Aからも代表者を送ってはどうか

(4) その他

- ① スポーツドクターの件
学術団体でもない日体協が認定するのは問題である。
60. 5 三木会長より日整会の泉田会長へ、そして日医の羽田会長へ提言
60.11 第1回スポーツドクター委員会が開かれ、カリキュラムを検討。(かなり高レベル)。

日整会でスポーツドクターを認定していく方向。

- ㊤ リウマチ登録医の件
 - ・リウマチ学会によれば、2月1日から6月末日までに登録をすませた人のうちより、8ないし9月に登録医を発表し、リウマチ科を標榜出来るようにする。
 - ・関節リウマチ等は、整形外科の分野であるため、日整会としても整形外科の認定医であれば、リウマチ登録医となることが出来るよう日整会自身で検討していく。
- ㊤ 名簿の件
3月下旬頃出来上り、4月末日頃までに大正製薬を通じて配布される予定。
- ㊟ 第14回J C O A研修会(福岡)の件
(資料(4)参照)
62. 5. 3 ~ 5. 5

(各県代表者会議資料抜粋)

資料(1)

日本臨床整形外科医会昭和60年事業報告

(昭和60年1月1日～昭和60年12月31日)

会員の状況

正会員	3,074	名
新入会員	194	名
賛助会員	91	名
退会届者	41	名
物故会員	9	名
3年以上会員未納者	23	名
2年以上会費未納者	31	名
60年会費未納者	562	名

- ・ 1月26日(土) 医業経営委員会 14:40～18:00(東京)
- ・ 2月3日(日) 広報委員会(大阪)
- ・ 2月8日(金) 昭和59年度会計監査
- ・ 2月10日(日) 常任理事会 12:00～17:00 東京貿易センタービル
- ・ 2月22日(金) 会誌編集委員会
- ・ 2月24日(日) 第1回理事会 10:00～16:00 ホテルパンフィック
- ・ 3月17日(日) 各県代表者会議 10:00～16:00 東京都医業健保会館
- ・ 3月21日(木) 常任理事会 16:00～19:00(大江戸)
- ・ 4月6日(土) J C O A選出の日整会評議員相談会 12:00～14:00(岐阜長良川ハイツ)
- ・ 4月7日(日) 理事会 11:00～12:00(岐阜会館)
- ・ 同 各県代表者会議 12:30～13:45(岐阜会館)
- ・ 同 J C O A総会 18:00～19:30(岐阜会館)
- ・ 4月18日(木) 保険委員会委員長及び委員、厚生省に陳情
- ・ 5月4日(土) 常任理事会 16:00～18:00(大江戸)
- ・ 5月26日(日) 保険委員会 12:00～16:00 青山レストランパレス
- ・ 5月26日(日) 企画福祉委員会 10:30～14:30 大阪ホリデイ南海
- ・ 6月16日(日) 会則等検討委員会(大阪)

- 6月30日(日) 第9回全国保険懇談会 10:00～16:00 健保会館
- 同 常任理事会 14:30～18:00 東京都医業健保会館
- 同 保険委員会 16:30～18:00 東京都医業健保会館
- 7月6日(土) 文化広報委員会 19:00～21:00 (日本橋精養軒)
- 7月20日(土) 医業経営、自賠労災合同委員会 16:00～19:00 (都市センターホテル)
- 8月25日(日) 第2回理事会 10:00～16:00 ホテルパシフィック
- 9月14、15、16日 JCOA横浜研修会
- 14日(土) 各県代表者会議 15:00～16:00 ホリデイン横浜
- 保険懇談会 15:30～18:00 ホリデイン横浜
- 15日(日) 臨時総会 17:30～18:00 開港記念会館
- 11月10日(日) スポーツ委員会 10:00～16:00 東京貿易センター
- 11月17日(日) 企画福祉委員会 11:00～14:00 大阪全日空ホテル
- 11月23日(土) 文化広報委員会 17:00～ (千葉)
- 12月1日(日) 全国審査委員会 10:00～16:00 東京都健保会館
- 12月26日(木) 柔道整復師協会会長と会談
- 4月 10周年記念特集号を発行
- 7月 会誌13号 学術集会特集号発行
- 8月 会誌15号 全国保険懇談会特集号発行
- 9月 会誌14号発行
- 10月 会誌16号発行

資料(2)

日本臨床整形外科医会収支決算書

(昭和60.1.1～60.12.31)

借 方 (支出)				貸 方 (収入)			
科 目	予算額	決算額	差異	科 目	予算額	決算額	差異
1. 事務所費	480,000 ^円	480,000 ^円	0 ^円	1. 会 費	920,000 ^円	1,351,400 ^円	431,400 ^円
2. 事務人件費	5,000,000	5,459,430	△459,430	2. 賛助会費	3,500,000	3,176,000	△324,000
3. 通信郵送費	4,000,000	3,999,996	900,004	3. 糊 広 告 料	2,300,000	7,470,000	5,170,000
4. 旅費交通費	3,500,000	2,457,468	1,042,532	4. 叻 雑 収 入		35,489	35,489
5. 会 議 費	2,700,000	1,478,549	1,221,451	5. 利 息		71,250	71,250
6. 印 刷 費	6,000,000	8,960,370	△2,960,370	6. 返 戻 金		33,600	33,600
7. 賃 借 料	284,400	284,400	0	7. 前 年 度 繰 越 金	1,056,894	1,056,894	0
8. 慶 弔 費	300,000	60,000	240,000				
9. 第13回研修補助費	1,200,000	1,200,000	0				
10. 消耗品費	100,000	41,240	58,760				
11. 身障者団体補助金	150,000	147,000	3,000				
12. 臨時雇員	500,000	97,975	402,025				
13. 雑 費	354,541	387,240	△32,699				
14. 予 備 費	1,000,000	0	1,000,000				
計	25,568,941	24,153,668	1,415,273	計	25,568,941	35,829,932	10,260,991
翌年度へ繰		11,676,264					
合 計		35,829,932				35,829,932	

資料(3) - 1

日本臨床整形外科医会
副会長 高山 瑩 先生

日整発 269号
昭和61年1月29日

社団法人 日本柔道整復師会々長 小倉 八郎

拝啓 寒気厳しき折柄、愈々御多様の段大慶の至りに存じあげます。日頃は柔道整復師の業務に関し格別の御高庇を賜わり厚く御礼申しあげます。

さて、先般拝眉の際申しあげましたとおり、本会会員のモラルに関しては、平素折あるごとに指導を行っておりますが、今回も別紙の如く全国都道府県会長に対し周知徹底を期するよう重ねて要望した次第であります。

ただ、先日も触れました如く、本会の規律を嫌忌して別派グループを作り勢力を拡張しつつ恣意の行動をとっている者の行跡が混交され、本会会員に誤解の及ぶことは遺憾に堪えません。本会ではこれらの吸収統一をなすべく目下腐心努力中であります。なお、今後共何卒よろしくご指導の程お願い申しあげます。

敬 具

資料(3) - 2

社団法人日本柔道整復師会
会長 小倉 八郎 殿

昭和61年2月5日

日本臨床整形外科医会 会長 三木 仁

拝啓 余寒厳しき折、ご多忙のところ、ますますご清祥をお喜び申し上げます。

さて、1月29日付の貴会より当会副会長宛宛文章の報告を受けました。当会としましては貴殿の柔道整復師としてのモラルについての各都道府県会長宛通知により貴会会員及びすべての柔道整復師が法を守り適正な施術行為をなされますことを期待しております。

早速理事会に報告し全会員に通知し、第一線において貴会会員に違法のないことを見守ることといたします。

今後尚一層のご努力をなされますことをお祈り申し上げます。

敬 具

資料(4)

第14回 JCOA (福岡県) スケジュール表

(第1日) 62.5.3 (日)		(第2日) 62.5.4 (月)				(第3日) 62.5.5 (火)								
9:00	受付開始	7:00	朝食会 (芙蓉西の間)			8:00	ゴルフ	観光 I	観光 II	観光 III				
		9:00	研修会 II (学術) (芙蓉東の間)											
10:00	各県代表者会議 (すいせんの間) 保険懇談会 (あやめの間)	10:30	研修会 III (非学術) (芙蓉東の間)											
		12:00												
12:30	自由行動 どんたく見物	12:30	昼食会 (芙蓉西の間)											
		13:30	ゴ	観	観						観			
16:00	研修会 I (学術) (芙蓉東の間) 女性の為の講演会 (あやめの間)		ル	光	光						光			
			フ	I	II						III			
18:00		18:00	(オブシヨント食)								※会で賞品等準備			
18:30		20:00	①花の木	②稚加菜	③広州酒家									
21:00	懇親会 (芙蓉の間)		(オブシヨン2次会)											
			①	②	③	④								

《メイン会場》ホテルニューオータニ博多 福岡市中央区渡辺通り TEL 092-714-1111

Ⅱ 臨時日本臨床整形外科医会近畿ブロック会

日 時 昭和 60 年 12 月 21 日

場 所 全日空ホテル

副会長 三 橋 二 良

奈良県臨床整形外科医会が世話人として行なわれた。

・各県の代表者、副代表者の決定（・印は代表者）

滋 賀 県 ・九谷 岩波
京 都 府 ・野口 土屋 橋本
奈 良 県 ・岩井 尾崎 今井
大 阪 府 ・坂本 三橋
和 歌 山 県 ・中村 南 北浦
兵 庫 県 ・吉良 長 伊藤

・代表者会議の議長として中村（和歌山）

・近畿よりの JCOA 理事 岩井（奈良）
吉良（兵庫）

・近畿ブロックの世話人 岩井

・各県代表者の変更（議長及び理事は各県代表者と兼任出来ないため）

和 歌 山 県 中村から北浦へ

兵 庫 県 吉良から長へ

奈 良 県 岩井から尾崎へ

次回定例近畿ブロック会は奈良県主催。

3月15日（土）4：00より

3月16日（日）懇親ゴルフ（奈良国際C.
C）

・JCOA 会長選 現三木会長に留任の意
あれば、三木会長を推薦。

・OCCOAよりJCOA理事会への要望事項
63年度より実施される認定医研修単位取得の
際、今までの単位を何らかの形で考慮してほ
しい。

Ⅲ 第10回日本臨床整形外科医会近畿ブロック会

日 時 昭和 61 年 3 月 15 日

場 所 奈良 菊 水 楼

副会長 三 橋 二 良

近畿ブロックより22名の参加者で行なわれた。

1) 近畿ブロック会々計報告（岩井）

残高3,844円。無くなれば各県より徴
収するとの事。

2) JCOA 理事会報告（吉良）

JCOA各県代表者会議の報告と重複する
ので省略。

3) 近畿ブロック会について（岩井）

JCOA 理事会が2月（第4日曜）、8月

（第4日曜）に行なわれるのでその後がよい。

従って1月又は2月と9月頃と一応しておく。

4) 次期開催の近畿ブロックの件について

10月18日、19日滋賀県

会場はラフォーレ琵琶湖

会議と宿泊。翌日はゴルフ（びわこC.C、
又は朝比奈）、観光組は近江八幡水郷めぐり
とする予定。

IV 日本臨床整形外科学会評議員会

東京新高輪プリンスホテルにおいて、3月29日、第59回日本整形外科学会の評議員会が行なわれ、それに出席して参りました。

今年は、日整会の理事会等の選挙がなく、比較的簡単に議題が進行する予定でありましたところ、白熱した議論がとびかい、PM1時～PM6時半頃まで、約5時間半に渡って熱心な討議が行われました。

その議事について御報告します。

議長は高岸教授、副議長は信原先生（JCOA）出席評議員数は152名。

- 議題1. 議事録署名人の指名
2. 会長報告
3. 名誉会員・Corresponding Member 推薦の件
4. 昭和60年度事業報告と収支決算
5. 財産目録について
6. 昭和61年度事業計画と収支決算
7. 次期会長の承認と次期副会長の選挙
8. 次期通常総会の開催日及び開催地の決定
9. 基礎学術集合の副会長及び次期副会長の選挙
10. 各種委員会報告
11. リューマチ登録医の件
12. スポーツドクターの件
13. 評議員からの提案議題
14. その他、義肢装具士（仮称）資格制度の早期確立に関する方針について

これらの議題の決議事項のうち、我々は関係の深いものについて、もう少し詳細に記述します。

議題7. 次期会長に田嶋教授が承認された。次期会長の選挙が行なわれ、増原教授が、投票数151のうち124票をとられ、副会長に当選された。（日整会総会は、62年の新潟に次いで63年は、奈良で行なわれる予定）

議題8. 次の日整会通常総会の開催期日は、

医学会等担当理事 伊藤 成幸
62年4月17日（金）～19日（日）。開催地は、新潟と決る。

議題9. 今年の秋の第1回基礎医学会は、野村教授が会長として、金沢で行なわれるが、その補佐役としての副会長と次期副会長が、まだ決っていないので、それに対して選挙が行なわれた。その前に基礎委員会から、榊田、下村、山本、吉川の4教授が推選され、その4人の中から選ばれることになり、その結果は、副会長榊田教授（京府大）、次期副会長下村教授（防衛医大：大市大→阪大の整形に在籍されていた）に決る。

議題10. 各種委員会報告は、いろいろあったがそのうち重要なものは、認定医制度委員会より、認定医の研修にあたり、準備期間中に、取得した研修単位（すでに取得したものも含めて）は、すべて無効であると、正式に発表された。

議題11. リューマチ登録医の件、日整会と、リューマチ学会の間で、いろいろ話し合いがもたれたようであるが、リューマチ学会が一方的にリューマチを標榜することを目標として、リューマチ登録医制度を発足させた。そこで日整会としては、リューマチが整形外科の領域でもあるため、急遽日整会の中に登録医制を作ることと決定した。

細則（期日、登録料等）は、後日理事会ではかることになった。

議題12. スポーツドクターの件、日本体育協会が、1単位90分、30単位の一定のカリキュラムを消化した医師（何科でもよい）にスポーツドクターの認定を行なっている。整形外科にとってスポーツ医学は、重要な守備範囲の1つである為、JCOAからの強いつきあげもあってやっと日整会としても、1単位90分、24単位のカリキュラムを修得した認定医を、スポーツ登録医にするということでスポーツ登録医制が発足することになった。（将来体協のスポーツドクターと合体する可能性があるといわれている）以上、我々に関係のある事項について簡単ですが報告します。

V 大阪府医師会医学会運営委員会

第9回（12月23日）

- (1) 2月度学術講演会計画2件3演題について協議、決定。
- (2) 昭和60年度医学研究奨励費助成の公募について協議。実施に伴う諸条件を検討。
- (3) 日医の生涯教育制度化検討委員会から中間答申として「ガイドライン」なるものが出されているので、早急に取り寄せて各委員に配布し、十分に検討すること。

第10回（1月27日）

- (1) 3月度学術講演会計画2件3演題同上
- (2) 日医「生涯教育制度化のガイドライン」について、各委員及び各単科医会からの多岐にわたる質問・意見を検討、集約した。これをもって、松本委員（理事）が2月3日の都道府県医師会学術担当理事連絡協議会に出席し、問題点を明らかにして来ることになった。
- (3) 尚、大阪府医では現在の医学会運営委員会が生涯教育委員会を兼ねて十分に機能出来るものであると確認した。

運営委員懇親会 1月25日 芝苑にて

第11回（2月24日）

- (1) 4月度学術講演会計画2件2演題同前。
- (2) 医学研究奨励費助成に応募された32件について逐一検討・選考の結果、30件を採用し1件当たり10万円の助成に決定。
- (3) 松本委員より、前記連絡協議会の報告をされ、（詳細は日医雑誌・日医ニュース参照）大阪からは他府県とはダントツの多面的な文句をつけた形であったが、結論的にはメリットへの努力をすとの答弁で諒承したと種々の説明があった。実施上の問題について討議し、大阪では特に郡市区医師会の自主性と権限を重視して、日医の申告方式のみにはこだわらずに、それ以上に内容の立派なものにして行きたい、と意見一致。先ず3月中に郡市区医師会学術担当理事連絡協議会を招集して諒解を求めることを決定した。

第12回（3月24日）

- (1) 5月度学術講演会計画2件3演題同前。

副会長 吉 田 正 和

- (2) 昭和60年度日本医師会医学講座実習の府医における実施状況につき報告。一部を除き、ほとんど定員一杯、なかには定員オーバーで熱心に受講されている。更に内容の向上を計りたい。生涯研修にとっても病診連係の上でも重要であるから。
- (3) 先般の小児科医会と共催成功の例に鑑みて、皮膚科医会との共催も年に1回は行なうことを確認。
- (4) 本日の郡市区医師会学術担当理事連絡協議会の運営について協議。

郡市区医師会学術担当理事連絡協議会 （3月24日）（医学会運営委員も出席）

- (1) 坂本運営委員会副会長から、あくまで行政主導を避け、医師会の自主性を貫いてこの問題を展開して行きたい旨の挨拶。
- (2) 松本理事（運営委員）から、生涯教育制度化の意味合い・経過・今回の試行について報告と説明。
- (3) 原則的・実際の両面にわたる種々の質問・疑念・意見等が活潑に出されて討論。
- (4) 生涯教育委員会は設置しなければならないが、それぞれの実情に応じて、学術委員会を兼ねても構わない。また、体験学習のためにも地域の大病院の会員も委員に入ってもらふべきだ、等も諒承。
- (5) 研修の多用な目標と内容の立案・企画・実施と、意欲づくり・環境づくりを行なわねばならぬことを確認。
- (6) 全会員の参加が先ず第一で、難しいが最大限の勉強動機づけへの努力・工夫を、各地区の独自性を発揮して行なうことで意見の一致を見た。
- (7) 日医への研修時間数だけの報告と言う現試行段階では、そのものを郡市区や府でチェックしてみても無意味である。研修実態・内容を或程度まで把握し分析検討出来る方法を考えなければ、今後の前進のための意義がない、との大方の意見であった。

足 の 痛 み (昭和60年12月7日O C O A研修会講演要旨)

大阪市立大学整形外科教授 島 津 晃

日常診療の中で、足の痛みを訴えて来院する例は少なくない。足部以外の腰痛などの神経系疾患の放散痛あるいは、血管系に由来する場合などでは、主病変を足部に求めては失敗する。また、足固有の疾患・外傷後の後遺症の病変も、理解が乏しければ診断に到るまでに遠廻りする。殊に、慢性足痛の診療にあたり、足の発達に遡った理解を要する場合もあり、また、履物への配慮も忘れてはならない。

局所所見の正確な把握もせず、X線像から診断を下してはならない。X線所見が無いが、乏しく撮影条件によっては見落す場合、逆に、X線像変化が直接に疾患と結び付け難い場合も少なくない。(表1) 軟部組織の病変はX線検査ではとらえ難い。また、関節炎も初期には変化はない。足根骨癒合症などは年齢による骨格発達を持って始めて知り得るものもあり、また、距骨骨軟骨骨折などは内外顆と重なり見落しやすく、時に、断層撮影を要する。散帯損傷ではストレス撮影が必要となる。

3段階目の疾患群はX線像上の異常はあっても、直ちに診断を下し得ないものであり、Sever病と思われるも、踵骨骨端核は3~4個に分裂して出現するものであり、痛みは靴による慢性圧迫のための滑液包炎にすぎないことが少なくない。Köhler病特有と思われる舟状骨の分裂像が壊死でなく、骨核変異にすぎず、何ら治療を要さないこともある。踵骨棘は踵骨下面の内側寄りの限局性の圧痛をもって始めて診断を下すべきであり、逆にX線像上の変化が無くとも同様の診断が下されてもよい。以下2・3の注意すべき疾患をあげると

1) 扁 平 足



ヒトの足は起立、長時間の荷重に耐えるべく発達してきた。この間、足根骨の中心線への集合(足巾の減少)、第1足列の発達、着地のための回施、これらにあわせて踵骨隆起も下方に伸び、足アーチが作られる。これに靭帯、筋肉の発達が加わり、筋活動(足アーチ形成筋)によって助長される。この発達の過程はヒトの成長期にもみられ、小児では足アーチが低くとも異常とはいえない。殊に、小児の足底脂肪褥は発達しており、単に足あとの、いわゆるベタ足をもって診断を下してはならない。よしんば、形態的に足アーチの低下があっても、慢性足痛を訴えなければ真の治療対象にならない。放置しても治る「ベタ足」を治療の対象にすべきでない。むしろ、逆の変形である凹足の痛みを起す危険性は高い。

2) 足根骨癒合症

中学生で1%強に距・踵・舟状骨間に証明する。部分的なものは見落しやすく、斜め撮影が必要となる。距踵間のは脛骨神経を圧迫し足根管症候によって始めて発見された例を経験

している。また、距舟間の骨棘、いわゆる ta-lar boss は本症の存在を示す所見である。

3) 履物の問題

足の痛みに対して履物並びに環境の変化の問診を忘れてはならない。足背の滑液包炎の原因は靴によると考えるべきである。外反母趾も履物を除外して治療方針はたたない。Freiberg 病、踵骨棘、踵部滑液包炎なども同様である。また、履物の変歪は足の変形を知る有力な手がかりでもある。

4) 関節炎

痛風は第 1 MtP のみに起ると思ってはならない。手にも初発し得る。発赤を示す急性関節炎には尿酸値の測定と降圧剤使用の病歴を聞かねばならない。

関節リウマチは距腿関節のみでなく距骨下関

節にも多い。圧痛部を明確に区別し、X線像を読めば見落さない。関節リウマチは多関節人工関節置換例となることがあり、この場合、MtP 関節切除から始めると良い。というのは、手術侵襲の少ない割に足痛の除去に有効であり、患者の信頼を得てからのの方が股・膝関節に手をつけやすい。

5) 足関節外傷後の後遺症

すでに変形性関節症変化を起こしている例は勿論であるが、軽度の変形でも頑固な疼痛を訴える例がある。その一つに、腓骨の軽度の短縮が足関節の不安定性を残し足の痛みを起こす。従って、新鮮例において腓骨骨折を正確に治して置くように努めるべきである。また、足根洞に圧痛を認める足根洞症候も忘れてはならない。

X 線所見	診 断
所見が無いか 乏しいもの	筋腱由来—アキレス腱炎・滑液包炎・腱膜炎・扁平足障害 神経由来—足根管症候・Morton 病 関節その他—痛風・RA・足根洞症候・老人の足痛
所見を見落とし やすいもの	足根骨癒合・距骨骨軟骨骨折(離断性骨軟骨炎)・靭帯損傷・骨折後遺症
所見即診断に 疑問あり	Sever 病・Köhler 病・外脛骨・二分種子骨・踵骨棘・外反母趾・距骨の変異・扁平足
所見によって 診断容易	Freiberg 病・中足骨疲労骨折・RA・変形性関節症・神経病性関節炎

(表 1)

Cure と Care

越宗整形外科病院 越宗 正

整形外科は初期の cure から長期に亘る care に対応しなければならない特徴がある。

careに就いて潜在的な運動不足が基本的に隠されている。治療よりも予防という基本対策が平素より必要であると気付いている人は少ない。体力低下、予備力低下、抵抗力低下、肥満などはその間の現象で凡て運動不足より出発している。心臓も元気な若い人の心拍出能力を100とすると半分の50もあれば支障はなく、残りの50は予備力、運動不足が続くと予備力が減少し40になり30にも。それでも日常生活には支障はない。10になると階段の昇降馳走で心悸亢進が起り異常に気付くが安静時の心電図では異常発見は不能。

予備力が0になって始めて治療の対象になる。そこで運動負荷検査が必要になる。又、肥満対策も1ヶ月の馳走の減量の効果よりも calorie 500 kg 少くする方が1ヶ月の間に減量効果は2倍もある。腰痛症は整形外科で非常に多い疾患である。40才以上の人の3分の1は訴えている。現代の腰痛は農村とか工場労働者に限らず普通の若者、中高年に多いのも過労が原因というよりは生活そのものが原因になっているように思われる。「クラウス」等によると腰痛症の80%はX線で異常はなくて腰腹部の筋力不足や筋緊張の亢進によって起っている。運動不足によって筋力が低下すること、精神的な「ストレス」によって筋緊張が高まり、それが運動などによって寛解されないで持続することが腰痛の原因であると謂う。又、運動家の中には脊椎分離症があり腰椎に異常があるのに激しい運動を続けても腰痛を起さないでいる例が少なくない。運動によって腰腹部の筋力が強化されるならば骨格に多少の所見があっても必ずしも腰痛を起さない。原因の特定されない腰痛に対して整形外科医の正しい指導による腰痛体操によって腰腹部や下肢の筋力の強化と筋緊張の寛解を促すこと



が有効に働き快方に向うこともある。

整形外科的疾患の多くは薬物や外科的療法だけでは根治困難なので生活条件の改善に対処するのが自然的な対策であるし、疾病の予防的見地からも運動療法によって体力を増進させることが必要である。然らばどのような運動をしたらよいかと患者より質問されたとき医師は適当に無理のないようにといった消極的な答を出している人があると思う。医師は病気を治すことばかり専心して運動指導などは考えてもみなかったし、大学の教育でも運動生理生化学的教育、技術教育には及んでいなかったし、運動は体力学校のする事の如く考えていたからであろう。今や体力学校もあり教育もあり学会もあり、最近では体力学会認定医の問題まで発展している。今や医師も看護婦も運動をどのように診療に取り入れていけばよいかという選択を迫られている時代である。臨床検査によって運動がその人の健康に「マイナス」になるような状態ではないか否かを評価する。検査は問診と臨床検査からなっていて、一般的なものと、その人の疾病に関連して特殊なものに分けられる。その結果は運動負荷検査や体力検査の可否、運

動の禁止、運動の種目や強度の制限などの判断の資料となる。運動負荷検査は「ダイナミック」な医学検査であると同時に体力検査特に有酸素能力の検査としての役割も持っている。勿論体力検査も必要で、それに基づいて運動の可否、強さに関する安全限界有効限界を決定する。一回の必要運動量（運動強度×運動時間）や一週間の頻度にも見当はつけられる。本人の好み、環境条件、年令にも考慮、又、時々は微調整も

必要とす。健康の為の運動は安全第一である事第二は効果ある事、第三は楽しい運動である事、而も永続きすることが必要である。安全の点では「ラジオ」体操、力強く歩く運動などは永い間国民的に定着しているが、医療の面で行うもっと深入りした運動に対して医療保険は極めて軽視的に思えると考えるのは私一人であろうか。

越宗 正先生には昭和60年11月14日倉敷市で開催された第65回中部日本整形外科災害外科学会総会で同会名誉会員に推挙されました。O C O Aではその栄誉をたたえて去る12月7日開催されたO C O A総会に於て記念品を贈呈致しました。



会の発展のために

OCO Aの総会、学術講演会、症例検討会等も、回を重ねるごとに参加会員数が増え、組織としての形態も着々と整備されつつあり、一つの会として揺籃期を過ぎ、将にこれから一大発展を遂げようとする、云はば飛翔の時期が到来していると考えます。

昨今の我々開業医を取り囲む環境は、年々厳しさを増す一方であり、現在ほど、出身校や所属医師会等を超越して、整形外科開業医同志の横の緊密な連繋が要請される時期は、過去になかったように思います。

そう云う観点から、OCO Aは我々にとって、極めて有意義な組織であると考え、私も数年前から参加しております。

こゝで、会として、更に発展をとげる為には、会員の皆様方の積極的な参加、会員相互間の交流、結束、意志の疎通等が必要であろうかと考えます。

ご 挨拶

つい最近に至る迄、医療情勢などについては、どちらかと云えば無頓着に過ぎてまいりました。しかし、今日のような医療切り捨ての政策には、憤懣やる方なく、あの手この手で締めつけられては、まるでいじめにでも遭っている様な気が致します。

これも浮き世（憂き世？）の流れと諦めて、身を征すべきでしょうか。

ともあれ、一日一日をささやかなりとも一生懸命に生きぬいていきたいと念じています。

研修の場以外にも機会あれば、諸々の情報交換もよし、うっ憤晴らしに愚痴り合うもよし、ストレス解消にゴルフや旅行をするもよしと行きたいものです。

未熟者で行き届きませんが、御指導の程宜しくお願い致します。

総務・庶務担当理事 木佐貫 一成



今迄以上に、『OCO Aの会員になって良かった。OCO Aの学術講演会や諸種の会合、催しに参加して得る所が多かった』と云えるような会にするため、成可く多くの会員の皆様が、御気軽に参加し易いように、会場の設定や開催日時等に就いて、会員諸先生の御要望或は御意見をお寄せいただければ幸いです。

厚生担当理事 古賀 教一郎



自己紹介

広報担当理事 長 田 明

この度、O C O Aの役員の末席に名を連ねさせていたゞく事になりました。広報担当と云う事ですが、まったく何をしてよいのやら一向に判らず、役員の皆様方、特に担当の瀬戸理事の足を引っばる事ばかりになるかもしれませんが、よろしく御指導賜わりますよう先ずはお願い申し上げます。

抱負を書けとのお言葉ですが、抱負などという大それたものなど持ちあわせておりませんので、近況を申しまして自己紹介させていただきます。

昭和53年12月に、長年お世話になりました大阪労災病院を辞し、堺市の南のはずれにあります現住所（浜寺諏訪森）に無床診療所を開業いたしました。浜寺諏訪森と申しますと終戦までは白砂青松の別荘地として知られていたところですが、今や臨海工業地帯ができ、終日白煙がたなびいておりますし、私の診療所の向いは、ちょっと一ぱいの赤ちょうちんがぶら下り、串かつの店や喫茶店やその他モロモロの商店街となっており、別荘地とはほど遠いものになっています。しかし生活するには大変便利なところで、住居を他に移そうなどはちょっと考えられません。また、大きな屋敷が一軒売れますと、それを買った立て売り業者が5～6軒も文化住宅を建て、しまうので、人口は大変増えてしまったようです。お陰様で、こちらの商売(?)の方も人口が多ければ多しだけ病人も多いわけでありがたい事なのですが、同じ浜寺地区に私が開業いたしましてから現在までの7年間に、似たような診療内容の病院や診療所が4軒もできてしまいました。でもおたがいに何となくやっていけるのはありがたい事と感謝しております。しかし4月の健保点数改正で整形外科が大変たゞかれたようで、一体どの位の減収になるのか、まだよく判りませんが、今後ますます厳しくなる事と覚悟をしていて間違いないと思っております。一人一人では無力でも皆でまともって対処すれば、少しでもよくなるのではない



かと希望を持っております。

開業するまでは、大阪労災病院でサッカーチームを作り、グラウンドを走りまわって（歩きまわって?）おりましたが、開業いたしますと全くといっていい程運動の機会がなくなってしまいました。また一年半程前からタバコをやめました関係もあってか、身体のおちこちに肉がついてブヨブヨと太ってまいりました。最初は太ってきたとも気付かずに女房に「オイ、ワイシャツが洗うたびにダンダン縮んできたぞ!」などと文句を言っておったのですが、ワイシャツが縮んだのではなく、自分が大きくなってきた事に気付いて、あわて、洋服やシャツの作り直しをしたりで思わぬ出費になりました。これ以上ブヨブヨになったら困るので、最近ではシティー・スポーツ・すみの江というスポーツジムに通って一生懸命に走ったり、体操をしたり、筋力強化をはかったりで汗を流しています。「若い女性インストラクターが何人もいるから通っているのやろう」と友人達に言われながら実はその通りなので、続いているのかなと思いつゝ週1～2回のペースでがんばっております。お陰様でお腹の出っぱりが少しへこんだようだと思っているのは自分だけかもしれませんが、いづれにしろ若い女性のピチピチしたのを眺めているだけでも楽しいものです。抱負を語るどころか大変不謹慎な話になってしまいましたので御容赦下さいますよう、よろしく申し上げます。

抱 負

學術担当理事 服 部 良 治

今般、計らずも大阪臨床整形外科医会理事に推挙され、浅学を顧みずお引受けいたしました。一旦お引受け致しましたからには、誠心誠意会務を執行し、会長・副会長に協力して、会員の諸先生方のお役に立ちます様に微力ではありますが努力する所存でございます。

私は、おっちょこちょいで、もともと記憶力はよくないのですが、最近物忘れに拍軍がかゝっている様です。しかし体力には自信があります。満五十才、ゴルフと川釣りを愛しそれ以上に整形外科をこよなく愛する一開業医です。今後ともよろしくご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

さて、何か新任の挨拶を申し述べるとの広報担当理事からの要請があり大変困りました。この大阪臨床整形外科医会に入会させていただきましたのも比較的最近のことですし、これまで当会の主催する講演会にもほとんど出席する機会のないまゝに、今回突然理事の大役を仰せつかり、現在暗中摸索の状態です。幸いこの会は坂本会長のもとに、ベテランの先生方が理事に居られ、さりげない気くばりで和気あいあいの中にもきびしい意見も出る理想的な運営がなされている様子を見て、私も何とかその一員としてお役に立てる様頑張りたいと思っているところです。

担当は學術です。荷の重い役ですが副会長の吉田先生・理事の大橋先生はいずれも超ベテラン、私が少々出しやばった意見を申し上げても先走った行動に出ても脱線はしない様コントロールしていただけるものと信じています。そこで、我々のこの大阪臨床整形外科医会が会員の諸先生方に存在価値を評価していただくためにも、ご意見を広くうけたまわり会の運営に反映させることが、理事としての私の大きな役目であろうかと考えます。殊に、學術講演会や症例検討会にしても、将来もう少し工夫して、中央学会にも地区医師会にも見られない、従来のもとも趣を変えた、本会ならではの味が出せる様な企画が出来たらという個人的な願望を持っています。是非先生方の貴重なご意見をお手紙



でもお電話でも結構ですから頂戴出来ましたら幸いです。

尚、本年9月に開催する予定の症例検討会につきましては近々具体的な募集のご案内が届くと思しますので奮ってご参加下さいませお願い申し上げます。

さて、医療をとりまく現実には誠に厳しいものがあります。厚生省の打出す医療改革案は矢次早やで日医の対応の遅れや生ぬるさは腹立たしいというよりもあきれ返る程である。すでに老人の定額負担制は定着し、さらに増額も決定的だし、やがて来る老人定率負担の足固めも出来たも同然。保険本人二割負担も目前に迫っている。

この様な状況にあって、今年四月の点数改訂は、我々整形外科開業医にとって実に腹立たしい限りです。理学療法点数の据え置き、湿布処置のまるめとしばり。技術料アップと報じられていたのでかすかな期待をしていたが創傷処置料が僅かにアップしたものゝ内科再診との落差は、我々整形外科医で最も頻繁に行われる手指処置に残っている。内科再診加算とは一体何であろうか、今だに理解出来ない。厚生省も処置を医師の技術料と考えているのなら内科再診との格差をなくすべきだし、医師会も既得権にこだわらず考えなおしてほしい。このまゝだと処置料改め、今はやりのお世話料にでもしたら如何なものか。

家庭医、プライマリーケアーという文字は医師の知的領域を程よくくすぐる魔力を持っている。厚生省の一見美味そうな盛り付けにまどわされることのない様、心して対処したいものである。

HAWAIIAN OPENに参加して

八幡医院 八 幡 雅 志

1983年、青木功選手が最終ホールで、イーグルをとり、劇的な優勝をかざり、一躍日本で有名になったHAWAIIAN OPENも、今年は第21回を迎えました。

WAIALAE C.Cはホノルルで最高の住宅地で、石原裕次郎も別荘をかまえるカハラ地区にあり、この週のためにすみずみまで整備され、ベストコンディションのグリーンとなっています。おまけにシーサイドのため、ハワイ特有のコナウィンドが強く、特に午後からは勢いを増し、早いグリーンと強い風に悩まされ、高い球を打つ選手はスコアを崩し、プロでも天候次第でたたきする場面が見られます。午前中はおだやかなのに午後には強風となり、ヤシの木がくの字に曲がる景色は日本では見られない荒々しさです。

大会の役員は殆んどがボランティアでメンバーの奥様や色々な方面からの協力者で、ユナイテッド航空、サントリー等のゴールドスポンサーからシルバースポンサーに至るまで50万\$の賞金、その他諸々の費用捻出に町あげて協力しております。ジョージ・アリヨン知事、フランク・フェシーホノルル市長をチェアメンとして、エクゼクティブ、トーナメント、プロアマコミッティーに分かれ、それぞれにサテライトコミッティーがついて運営されています。彼等は大会終了後も、次年度の参考のためのアンケートを送って来ます。

2月10日(月)から16日(日)までをハワイアンオープンウィークと名付け、色々な行事がとり行われます。メインは13. 14. 15. 16. の4日間72ホールで行われるハワイアンオープンです。アマ1名を含む144名が参加し、前半の36ホールで70位(2アンダー)までが決勝へ進みます。日本選手では青木、尾崎健選手が決勝へ、倉本、金井選手他は予選落ちでした。結果はワトソンとベイビンの戦いとなり、若いベイビンが勝利をおさめ\$90,000のウィナーとなりました。

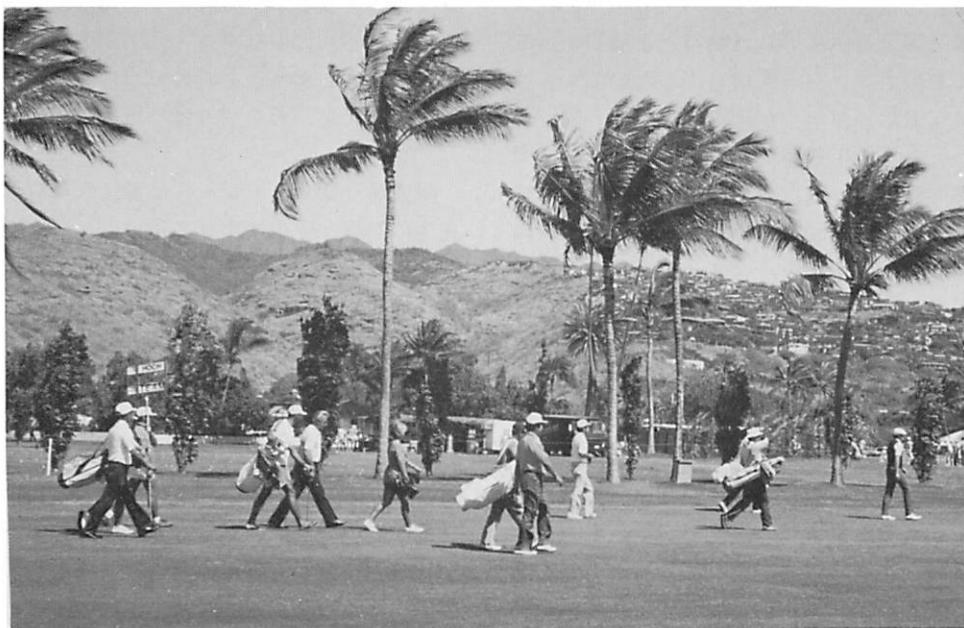


今回私が参加したのは本戦の前日に行われるプロアマトーナメントで1名のプロと4名のアマが1チームを作り、チーム成績を競う団体戦です。私のチームはスコット・ホックと云うアメリカの中堅プロです。アマはHDCP・の順でA.B.C.Dの4ブロックに分けられ、それぞれのHDCP・で出場します。Aブロックからの選手はチームリーダーとなり試合の進行を司る役目を仰せ付けられます。プロと相談しながらB.C.Dの選手の有利なHDCP・を使ってゲームをリードします。(HDCP・ホールでパーをとると1アンダー、バーディーをとると2アンダーとなる。) そのアンダーをつみ重ねて、18ホールの合計で順位を決定します。5人の内の1人がバーディーをとると他の人のパーパットは意味がないので、ピックアップを指示します。従って5人で廻ってもギブアップする人が出ますので時間はかえて早いようでした。私のチームはB.C.Dが交互に大活躍して20アンダーパーを出しました。昨年は18アンダーパーが優勝でしたので勝利を信じて喜んでいたのですが、トム・ワトソンチームが21アンダーパーで優勝、我々は残念ながら準優勝となりました。しかし初出場で2位チームに入れて、しかもチームリーダーの大役を果たせた事は幸運でした。アマチュアは殆んどが中・高年のリッチマンで毎年出場の常連が多く、208名の内ドクターは米国人、

中国人と私の3名で、あまりに少ないのに驚きました。又、夜にはバンケットが開かれ、会場にはロングドレスの御婦人方が花を添えてハワイアンバンドが入り最高のムードです。賞品は1~10位まで全て同じサラダボールに順位の書いたプレートが貼ってあり、個人戦やプロには

ゴールドパイナップルが送られます。初めての経験でドキマギの連続でしたが、非常に楽しい貴重な1週間でありました。来年も大学の若先生に診療所をまかせて、再び太陽が一っぱいの2月のワイアラエに挑戦するつもりです。

MAHALO!



雑 談

先輩の先生からお電話を頂いて即座に『そら先生無理な話でっせ、だいたい、最近400字詰の原稿用紙なんて見たこともないのに』と答えたのに、人使い上手な先輩の甘言に、まんまとのせられて、ついに書かせて頂くことに相成りました。

未だ若かりし現役学生の頃、台風何号かのあとを追うように、庭球部一同が合宿地の諏訪に到着したのは、8月も半ばを過ぎた昼下りでした。雲は低く、風強く、とても練習が出来る天気ではありません。コートが乾いてなくて、滑って危険だし、コートが荒るので使用許可も出ないでしょう。と云うことに気付いた我々は、諏訪湖でヨットに乗ることでウォーミン

中島整形外科 中 嶋 博 章



グ・アップにしようと思いました。なぜなら、一周30数人の中に、3人も高校などでヨットに乗っていた者がいたからです。もっと言えば、その他の人達は練習以外なら何でも好きな人達だったのです。

湖の貸ボート屋が、風が強過ぎて危ないと断るのを、「我々は大学のヨット部であり、たまたま諏訪湖泛遊に参った」などと嘘を言って5ハイものディンギーを借り出したのです。当時のヨットは、セールが綿布でした、一度、沈すると乾かすのに数時間かかりました。そうです、御推察の通り、次の日練習に疲れた我々の合宿所に、20何時間か分のヨット借り出し料の請求書が参ってました。マネージャー氏は頭痛鉢巻きで、「これは無理ですね、合宿を一日早く、きり上げましょうか」。

教授の出張中をねらって、医局員皆スキーのムシロ旗を掲げて、渋い顔をする助教授（現香川医大教授）をまるめ込み、医局半分宛交互に春スキーと酒落こんだ。行先は、信州野沢温泉、一週間のホネ休め。元スキー部に現役数名を加えて、サービス係は荷役に、スキー指導に、夜は宴会係から御婦人方専門のアンマに至るまで大車輪。スキー組の御婦人方は、紅願の美青年（私も含めて）達に手とり足とり、スキー等を教えられ、身体中に付着した雪もていねいにぬぐいってもらいするもので、上達は早いわ、気持ちいいで大満足。

スキーに興味のない先生方も、御存知雪見酒に温泉芸者とくれば、何の不平が出るものか。地酒の旨さに魅かされて、丸一日も酒びたり。夜の宴会でも一度仕上げをしたもので、ナルコーゼ次第に深度を増し、袖の長い方の御誘いにも拘らず、息ははずむし手は震えるし、目の前バラ色。あしはといえば3期2相……、先生そら無理ですわ。

スキー組の御婦人の中に、すきものが居りまして、世話役の現役スキー部員の一人を誘って、人目はるかな林間コースへ。滑ること約30分、沢に掛った雪の橋もろ共ザブンと雪解け水の中。

スキー部君、懸命に助け上げ自分のセーターを着せて、オンブにダッコで下山。件の女史、感謝感激。その夜は……というのは思い過ごしで、いざという時になって女史、身体の一部に異常を感じ「あれ、アレは先日終ったばかり、何故の出血？」

で、帰学後ギネ受診。何でどんなに突きさしたのか、相当大巾なダム・リスがあったそうなお互い努力しようとしたのに水の泡、と残念がってましたが、そらやっぱり無理でっせ。

阿波踊りヨット・レースに参加される外科の先生の34呎ケッチに乗せて頂いた。長途を慮ってか、意地悪でか、スキッパー氏の女友達が食料品の差し入れに來られた。何と、三輪ソーメン100把入り一箱!!。ヨットでは無理ですよー。

医局の何かのグループの忘年会で、三橋先輩と同席させて頂いた。酒がすすむほどに、先輩18番の端唄の御披露となった。料亭のドテラを小粋に着こなして尻端折で「奴さんだよ」と御登場。さすが凝り性の先輩も、禪の用意までは手が廻らず、自前のビキニ型ブリーフが見えかくれ。少々ゴムがゆるかったもので、御自慢の特大品があわや……居あわす芸者、仲居さん達大よろこび。先輩も気が付かれたが、両股関節内施内転位に構えて、「お供は、つらいね……」。やっぱり見える。先輩そら無理でっせ。

登山、サッカー

奥田整形外科 奥田好彦

大学に入学当時はサッカー部に入部を希望していました。冬はアルペンスキーを希望して、先にスキー入部を申し込んだために、スキー山岳部員になり、夏山合宿に、北アルプス20日間余り入山する破目になり、冬はノルディックで田圃の中を走らされました。毎年土、日を入れて100日以上入山しました。

「大阪に帰ってしまったら開業しか出来ないよ」。山岳部の部長をしておられた、第1解剖の教授に言われましたが、和歌山を後にして大阪で勤務しました。

大阪市大で沢山の友達が出来、酒飲んでばかりいてはと、ラグビー部に紹介していただき、現役と一緒に、一重鐘温泉の合宿に参加させていただいたこともありました。

30才を過ぎて大阪労災病院でサッカーを始めました。現在も、同病院のサッカー部O.Bとして、試合に参加しています。最近の試合では、昭和60年11月24日横浜で、メンバー11名ちょうど、2試合連続、2時間出場しました。冷たい雨の中、相手は20才も若いし一試合で僕の相手フォワードが3人を代って来られました。試合中に喉が痛くなり、それ以来今季は3回も感冒に罹りました。試合は1:2負、2:1勝でした。その後1ヶ後以上鼻水は出る、咳も出る、声は出ない状態で、開業を続けました。

今年から西日本医師サッカー連盟長老チームに入会しました。もうすぐ44才で、長生きしたと思っていましたが、メンバーは明治42年生れの方から、計49名おられて、平均57才です。全員頑張って、シュートも正確です。まだまだ年寄なんて言ってもらえません。

さて登山の方ですが、昨年から市大整形外科の先輩と年に2回程度登山に同行しています。昨年は2月に竜ヶ岳、6月に恵那山に、今年は2月の多雪期に武奈岳に登っています。

「奥田君大阪に帰ったら、開業医にしか出来ないよ。」と言われましたが、やはりその通りで、3年前より南海高野線千代田駅近くの借しビル



2階で、院長、事務長、レントゲン技師、1人3役で開業しています。保険改正で患者の来院は制限され、今回は15%以上のレセプトダウンになる見込み、開業しか出来ないではなく、しっかりしないと開業すら困難になってきそうです。

当院の大手術は、抜釘、指の皮膚癌の切断、外骨腫切除程度で報告すべき立派なものはありません。1年位前に、近くの工場から、基節骨が飛び出して、左母指の血行障害を来した、20才の患者が来院しました。両手首に5~6本の創痕がみられました。MPから先は「先生の指や」と言って、半ば強制的に、骨移植をさせられました。術後跛をひいて階段を降りて行くのを見送りました。結局母指は残り、本人もかなりしっかりして、大人らしくなりました。近くに学校が多く、校内暴力の延長みたいに、中学生が「医者は阿保で、助平で、すぐ女に手出して信用出来ん！」と云いながら受診することもあります。「いつ来てもひまやな、つぶれるんとちがうか」とも言われましたが、やはり一生懸命診察しています。それでおとなしくなりましたが、「もう薬はいらんよ」と言っても、「先生の力だけで治るとは思われん！」と言って持ち帰ろうとしています。

これからますます年をとり、もっとみすばらしくなっていくでしょうが、いつまでも力のある、人の訴えが分る整形外科医になろうと心がけるつもりです。

厚生部だより

厚生部担当理事 村 上 白 士
河 合 秀 郎
古 賀 教 一 郎

今年度O C O A厚生部事業を下記の様に計画しましたので
奮ってご参加下さい。

昭和61年度厚生部事業計画

1) 第5回ゴルフコンペ (春季)

61年 5月 11日 (日)

瀬田ゴルフコース (新コース) 6組

2) 第6回ゴルフコンペ (秋季)

61年 11月 16日 (日)

竜王ゴルフコース 6組

3) 第3回会員懇親旅行

61年 8月 23日 (土) ~ 24日 (日)

有馬 中ノ防 瑞苑 (20名)

※ 第4回会員懇親旅行

62年 1月 24日 (土) ~ 25日 (日)

(行先 峰山 料亭 和久伝 (松葉ガニ料理)
ゴルフ 久美浜カントリークラブ

(雪でクローズの場合は和久伝で沈没の予定)

第2回O C O A親睦旅行の御報告

昭和60年11月9日(土)、申し分のない天候、国鉄天王寺駅1番ホームより参加者11名が乗りこんだ「くろしお22号」は、定刻の15時に発車一路白浜へと向う。M先生ご持参のチューハイを早速いただきながら歓談、2時間余の車中も全く苦にならなかった。

17時4分白浜着、タクシーに分乗白浜コープホテルに着く頃には、夜のとばりが下りていた。部屋割りがすむと直ぐに温泉大浴場の湯につかって、旅の垢を落した。入浴後そぞろ歩きで、割烹「なにわ」へ参集、コーディネイターとして、白浜病院の中城忠幸先生がご参加下さった。コンパニオンのタマキ、小雪、ヤヨイ、一栄、真紀子のめんめんのサービスで華やかに、かつ賑やかに、「くえ」の料理に舌鼓をうった。刺し身も旨し、ちり鍋も旨し、酒も旨かった。

ほどよく酔いが回ったところで、H先生は、早々とホテルに引き上げられたが、残留組は二次会のスナックへと繰り出し、カラオケに興じて一同大いに気炎を上げた。

三次回は、一寸酒落た感じの店構えの、うどん屋へ。コの字型のカウンターの中には、大阪出身とかで、まだほどほどに若い大変美人のママさんがいて貸し切りである。酒豪のM先生、K先生、生酒をコップで皆の掛け声とともに一気飲み、店の入口を客が何度かのぞいたが、一行の怪気炎に恐れをなしたのか誰も入ってこなかった。きりのよいところで店を出て、ある組はホテルへ、ある組は四次会へと出陣なされたようであるが、このあとのことは定かでない。

ホテル組も勿論午前様であったが、N先生お気に入りの「なにわ」以来ずっと付き添っていた新潟県柏崎出身とかの、コンパニオンのM嬢がロビー迄同伴、うまくやったものだと皆で羨む。ところが、いざ二人きりでという段になって、おやすみなさいと肩すかし、すっかりムードがもり上がっていたらしく、N先生お気の毒にがっくりと、頭に血が上ったまゝ。翌日のゴルフ

厚生担当理事 古賀 教一郎

フでは、一次会だけで引きあげたH先生とは、大違いの結果を迎えるはめとなるのである。

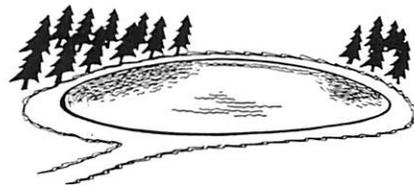
明けて10日(日)も好天に恵まれたが、木佐貫一成先生は、所用の為、ゴルフには参加されずに朝のうちに帰阪された。

朝食後、白浜ゴルフクラブに向い、「なにわ」の女将と、タマキさんが一緒加って一番のスタート、プレーは和気あいあい非常に楽しかったが、昨夜浴びた酒のたたりか、はたまた睡眠不足の為か、ある先生は欲求不満の為か、大方の先生方は日頃の実力が出なかったようである。しかし、大阪では考えられない位暖かく、快適にプレーが出来た。

スタート時間の加減で、早い時間に上がることが出来、再び「なにわ」に取って返してミーティング、又、海の幸を肴に一ぱいやりながら、成績発表が行われた。昨夜のコンパニオンが三人、くだんのM嬢も髪をとって素顔でやって来て、N先生のそばでお酌、N先生すっかり機嫌を直され、一同よかったよかったと異口同音に胸をなでおろしたものであった。

帰りは「くろしお27号」で、K先生の奥様の手造りの梅酒をご馳走になりながら談笑している内に天王寺へ着いた。20時前に名残を惜しみつゝホームで解散、三々五々家路についた。

酒宴に始まり、酒宴に終わった、誠に楽しい一泊旅行であった。





ゴルフコンペの成績表

(60.11.10 白浜ゴルフクラブ)

			H. D	G	N		
優	勝	原	卓	司	23	94	71
2	位	三	橋	二	17	89	72
3	位	畠	山	勝	39	115	76
4	位	河	合	秀	16	93	77
5	位	古	賀	教	30	109	79
6	位	大	橋	規	13	94	81
7	位	坂	本	徳	25	116	91
8	位	村	上	白	14	107	93
B.	B	中	川	英	19	121	102
メー	カー	瀬	戸	信	40	149	109
B	G	三	橋	二			

(敬称略)

秋のJCOA宇都宮研修会へご参加を！

過日宇都宮へ行って参りました。

今年研修会を開催される会長 高瀬先生と、私のJCOA理事時代、又は日本整形外科学会等で、お互いに救急医療のパネルディスカッションを担当したりして、よく話をしている中に、「一度宇都宮へ遊びに行きます」と約束したのです。

昨秋来のびのびになって、3月21日に漸く出かけましたが、丁度、秋の研修会の準備中とのことで、事務局長の吉川先生と一緒に、ゴルフ場（杉の郷CC）、ホテル（宇都宮グランドホテル）、夕食（研修会場）、大谷石採掘場等を見せて頂きました。

今秋の研修会にご出席下さるように、皆様にP.Rして頂ければ幸いです。

まずは非宇都宮へというP.Rから。

関西の我々には、中々北関東へ行く機会がありません。

栃木県という県についての概念もあやふやで、宇都宮市というのはどういう所というのも全くいい加減な知識の方が多いのではないのでしょうか？ 正直な所、私は「宇都宮に師団司令部があった」ということ位の記憶があるだけです。

ところが新幹線で上野から47分というのは、行ってみればすぐそこという感じです。大宮を出た時、列車の窓から富士山がゆっくり見られたのは、私にとって初めての経験でした。関東平野をひとっ走りした宇都宮市はさすがにもう東北が近いのか、郊外には丘や、小山が沢山ありました。群馬県には赤城山、栃木県には筑波山があり、ここ宇都宮の近くでは男体山（ナンタイサン）と白根山位が私共の知っている山でしょうか？

那須高原（研修会旅行の予定）等も、私自身はご用邸があると聞いているだけで、行ったこともありません。日光は近くなのですが、研修会では奥日光までは行けないようです。ゴルフ

前JCOA近畿ブロック代表理事

荻原整形外科病院 荻原 一 輝

場は丘陵コース、広くて、それ程距離が長いという感じがありません。（私のスコアは別ですが）

大谷石の採掘場は驚きの一言です。有名な所で駅から近いので、是非見に行かれることをおすすめします。観察室に入れるようになっていきますし、大谷石というのが生活の中でどう扱われているのかを、一寸知ることができでしょう。（御影石と同じような使い方とってよいでしょう）

栃木県は何もない所で、皆様来て頂けるだろうか、と、吉川先生が心配しておられましたが、以上の私の訪問記でも書きましたように、色々な所があっても、差程多くもなく「何もない所」という感も否めません。しかしこの「何もない所」に3日間いるという事は「チマチマした関西」にいる者にとって、とても大きな収穫になるのではないかと思います。

高瀬先生は京都出身、吉川先生は四国出身とのことです。この先生方が宇都宮に住みつかれたのも、やはり「魅力ある都市」なのでしょう。

この意味では「関西から」沢山の先生方が出席されることを、是非おすすめしたいと考えて、一寸一文を記し、研修会ご参加の方が一人でも増えるよう願っています。

JCOA研修会は全国各地へ出かけるということ以外に、「無形の何か」を沢山得られることについて、ここに喋々と述べません。

是非今までご参加になっていない方も、一度お出かけになります様、おすすめ致します。

第6回理事会 (60.11.21)

1) 大阪府医師会医学会の報告 (吉田)

第6回 60.9.30

① 11月10日の医学会総会における41の一般演題の分担と座長を決め

② 専門医、認定医の報告

臨床整形外科医会から吉田正和先生による(整形外科の)認定医の報告

第7回 60.10.21

① 医学会総会と評議委員会の最終的な打合

② 61年度の有料セミナー(2/8~9)の担当と運営委員

医学会総会 60.11.10(府医ニュースを参照)

医療近代化シンポジウム

特別講演

「人は放射線に何故弱いのか」

大阪大学 近藤教授

パネル展示の討論

評議委員会

※11月14~15日に倉敷市で開催された第65回中部日本整形外科災害外科学会の総会でO C O Aの前会長越宗正先生が名誉会員に推挙されました。従ってO C O Aでは12月7日に開催されますO C O A総会時にその栄誉をたゝえて記念品を贈呈する予定です。

2) 10月13日O C O Aゴルフコンペの報告 (村上)

次回春のゴルフコンペはS61年5月11日

瀬田ゴルフコースで6組

3) 11月9.10日O C O A親睦旅行の報告(河合)

11名参加

4) 昭和60年度の会計報告 (馬場)

今後、研修会の余剰金が出た場合学術部でプールしておく

5) 昭和61年度事業案及び予算案、会則変更の件 (三橋)

6) 会誌3号の件 (瀬戸)

12月3日に総会用のパンフレットと会誌を送付予定

7) 12月7日総会の役割分担及び役員改選につ

いて

(坂本)

・総会 午後3:00~4:00

・研修会 午後4:00~5:50

座長 吉田副会長

謝辞 大橋理事

・懇親会 午後6:00~7:30

司会 河合理事

挨拶 三橋副会長

乾杯 島津教授

越宗顧問

61年度新役員理事会決定

8) その他

・黒瀬先生のお見舞の報告

・日整会の認定医研修単位についての取り扱いについて

J C O Aを通じて日整会に陳情すること

……提案者 吉田

・61年度厚生部行事予定

61. 5. 11 春期ゴルフ大会

61. 11. 16 秋期ゴルフ大会

61. 8. 23 有馬温泉へ一泊親睦旅行

61年度新年理事会 (61.1.25)

1) 大阪府医師会医学会の報告 (吉田)

・日医の生涯教育制度化検討委員会中間報告

4月~6月間に日医、都道府県医師会、郡市区医師会に生涯教育委員会を設置して具体的なプログラムを企画、立案、実施をしてほしい。

6月~11月25単位(年間50単位)委員会へ自己申告をし、それを順に日医へあげ日医が認定証を発行

12月~翌3月まで再び実施内容、申告内容を検討、62年より再施行

・2月度の医学会学術講演会

・大阪府医学会総会時の医学研究奨励費公募

2) 臨時J C O A近畿ブロック会

(60.12.21)の報告

(三橋)

・各県の代表者、副代表者の決定

- ・代表者会議の議長として中村（和歌山）
- ・近畿よりのJCOA理事 岩井、吉良
- ・近畿ブロック世話人 岩井（奈良）
- ・各県代表者の変更（議長及び理事は各県代表者を兼任出来ない為）

- ・次回定例近畿ブロック 奈良県主催
- ・JCOA会長選
- ・OCCOAよりJCOA理事会への要望事項
63年度より実施される認定医研修単位取得の際、今まで取得した単位を何らかの形で考慮してほしい。

- 3) 大阪府単科医会連絡協議会 (61.1.14) の報告 (三橋)
11単科医会 皮膚科、泌尿器科の当番にて開催

- ・新府医会館の単科医会用の事務室を申請されていたが無理

- ・日医の生涯教育制度のガイドライン
次回、眼科、皮膚科、泌尿器科の当番で6～7月頃開催予定

- 4) 61年度理事役割分担 (坂本)
※現在会員の中に4人審査委員がおられる。

理事会又は懇親会へ招聘しお話を聞く、各審査委員に議事録を送付

- 5) 61年度学術講演の件 (吉田)(大橋)

	スポンサー	
5月17日	エーザイ	講師として近畿各大学教授
6月14日又は21日	吉 富	
9月27日	住友又はフジサワ	
11月29日(OCCOA総会)	阪大 大正製薬	小野教授

- (附) 6/28 老人の外科(整形外科)
講師 関西医科大学 小川教授
保険医協会主催

※第1回学術講演会は5月10日案であったが、大安のため会場がとれず5月17日変更

- 6) 厚生部の予定 (村上)

- 7) 会誌の件 (瀬戸)

会誌4号 5月に発刊予定
原稿メ切 4月末

- 8) その他

新入会員の紹介、名簿作成の件、日整会評議委員会(2月8日)、JCOA近畿ブロック会(3月15日～16日)、各県代表者会議(3月9日)、次回理事会3月22日(土)場所

未定、1月22日日整会認定医審査会72通内1人不合格(OCCOA会員は認定医申請時には伊藤先生へ連絡)

第2回理事会 (61.3.22)

- 1) 大阪府医師会医学会の報告 (吉田)

第10回(1/27)

- ① 2月度の学術講演決定内容の報告
- ② 3月度の学術講演についての協議と決定
- ③ 日本医師会の「生涯教育制度化のガイドライン」について

第11回(2/24)

- ① 3月度学術講演会決定内容の報告
- ② 4月度の学術講演についての協議と決定
- ③ 61年度医学研究奨励助成について
33件の申請を審査し30件を採用
- ④ 松本委員より「生涯教育制度化のガイドライン」について内容報告があり
日医雑誌の3月1日号841～867頁に掲載されますので御参照下さい

- 2) 3月9日(於東京)JCOA各県代表者会議の報告(本誌8頁参照) (坂本)

- ・報告事項

- ①昭和60年事業報告
- ②理事会報告

- ・議事

- ①昭和60年決算の承認を求める件
- ②新役員の選出

- ・協議事項

- ①日本臨床整形外科医会学会設立の件
- ②自賠責保険に関する件
- ③柔道整復師会との懇談と名簿配布について
- ④その他

イ、スポーツドクターの件

ロ、リウマチ登録医の件

ハ、名簿の件

ニ、第14回JCOA研修会の件(福岡)

- 3) 3月15.16日(於東京)近畿ブロック会の報告 (三橋)

大阪より三橋、木佐貫、古賀、坂本出席

- ・会計報告

- ・JCOA理事会報告

- ・各県における認定医研修会の状況(59.7.18～61.2.18)

兵庫8(11)、大阪9(11)、奈良2(2)、和歌山10(15)、京都14(15)、滋賀0、

()内は単位数

- ・近畿ブロック会の開催日
 - ① 3月頃 ② 9月頃
- ・次回 10/18～19 滋賀「ラフォーレ琵琶湖」
- 4) JCOA内における日整会評議委員会の報告(4号13頁参照) (伊藤)
- 2月4日 於東京ステーションホテル
- 日整会総会時の評議委員会の議題とその対策
- ・RA登録医について
- ・スポーツドクターについて
- ・次期副会長 奈良医大 増原教授
- ・第1回日整会基礎医学会 金沢大学野村教授 (61.8.30～31)
- ・現在日整会は会長制をとっているが、将来は理事長制をとり、その下に臨床の会長、基礎の会長をおく方向へ
- ・整形外科を総合病院の必須科とする由、厚生大臣へ要請
- ・開業医、大学、国公立病院とのコミュニケーションを密にする。
- 5) 5月17日、6月14日学術講演会及び9月度症例検討会の件 (大橋)

- 5月17日
 - 富山医科薬科大学教授 辻 陽雄先生
 - 「腰痛病態解析の治療設計」
- 6月14日
 - 京都大学教授 山室 隆夫先生
 - 「各種人工関節の使い分けについての私の考え方」
- 9月27日 症例検討会
 - スポンサー住友製薬により 国際ビル(?)
 - 講師を選びテーマを決めてそれを中心に討議 希望者は大橋、服部両先生へ
- 11月29日 総会時の学術講演
 - 大阪大学教授 小野 啓郎先生
- 6) 会報4号及び会員名簿の件
 - 原稿メ切 4/20 瀬戸理事へ
 - 5月中旬発刊予定
 - 会員名簿 スポンサー、エーザイ製薬により作成中、会誌と共に発送予定。
- 7) OCOAよりTV出演の件
 - 毎週土曜日9:15～9:30<TV大阪>府医主催
 - ☆4月19日 三橋副会長出演「温泉療法について」

会 員 名 簿 補 追

・会員名簿追加

〒	氏名	開業別	医療機関名称	医療機関所在地	電話番号	自宅住所	電話番号
560	こじま よしすけ 児島 義介	開業	児島千里園 整形外科	豊中市本町3丁目8番 6号 ヴィラ神尾	06 854-5150	〒560 豊中市上野坂1-6-13	06 840-0302
581	さくま まさお 佐久間幸 雄	開業	サクマ整形外科	八尾市南太子堂2- 1-59 谷口ビル2F	0729 93-8036	〒545 大阪市阿倍野区松崎町 2-3-43-1103	06 623-4972
545	よわたにしゆんすけ 米谷 俊裕	開業	米谷整形外科	大阪市阿倍野区西田辺 町2-2-15	06 695-0328	〒546 大阪市東住吉区山坂 5丁目19-24-1201	06 696-4672

・住所変更

〒	氏名	開業別	医療機関名称	医療期間所在地	電話番号	自宅住所	電話番号
567	ながの ふかし 永野 深	開業	沢良宣診療所	茨木市沢良宣浜 3-13-28	0726 35-5267		

注：住所、電話番号変更等はOCO A事務局までお知らせ下さい。

(I) 学術研修会の御案内 (1)

演 題 : 腰痛病態解析の治療設計
講 師 : 富山医科薬科大学 整形外科教授 辻 陽 雄
日 時 : 昭和 61 年 5 月 17 日 (土) PM 3 : 00
場 所 : 新阪急ビル12F レストランパレス
協 賛 : エーザイ株式会社

(II) 学術研修会の御案内 (2)

演 題 : 各種人工股関節の使い分けについての私の考え方
講 師 : 京都大学 整形外科教授 山 室 隆 夫
日 時 : 昭和 61 年 6 月 14 日 (土) PM 3 : 00
場 所 : ホリディイン南海大阪
協 賛 : 吉富製薬株式会社

(III) OCOA第3回症例検討会の御案内

日 時 : 昭和 61 年 9 月 27 日 (土) PM 3 : 00
場 所 : 住友製薬K.K 本社7階 大会議室 (大阪市東区道修町2丁目40)
協 賛 : 住友製薬株式会社
今回は講師による症例解説(テーマは後日お知らせします)を中心とした症例検討会を企画しています。

(IV) 第10回OCOAT総会及び研修会の御案内

演 題 : 未 定
講 師 : 大阪大学 整形外科教授 小 野 啓 郎
日 時 : 昭和 61 年 11 月 29 日 (土) PM 3 : 00
場 所 : 新阪急ビル12F レストランパレス ラクール
協 賛 : 大正製薬株式会社

原稿募集

次号（第5号）昭和61年12月発行予定です。日頃臨床経験、診療上の工夫、学会研修会印象記・O C O Aに対する意見要望・医業経営・医政に関する御意見・随想・趣味等々いづれでも結構です、奮って御投稿下さい。

（送り先：O C O A事務局）

編集後記

菜種梅雨という言葉にふさわしい雨の多かった四月、またまた繁用薬価の値下げ、湿布処置点数の切り下げ、老人医療一部負担の増額問題と我々をとりまく医療情勢も雨天。O C O A会員の皆様には如何対処しておられますか。O C O A会報第4号をお届けします。

盛会に開催された昨秋のO C O A総会で多数の新役員を迎え、O C O Aの活動も益々活潑になるものと期待されております。広報も新しく長田 明理事が加わっていただき、早速会員アンケートの企画を中心に始動されていますので、その節は又会員の皆様の御協力をお願い致します。

本会顧問の越宗先生には中部整災会名誉会員御推挙おめでとうございます。本号に“Cure と Care”と題して論説をいただきました。会員の声として八幡、中嶋、奥田の諸先生には夫々個性あふれる御投稿をいただき有難とうございました。今後ともどしどし会員の皆様の御投稿をいただき全員参加の会報にしてゆきたいと願っております。

（瀬戸信夫記）

大阪臨床整形外科医会会報 第4号

昭和61年5月10日印刷
昭和61年5月20日発行

発行所 大阪臨床整形外科医会事務局
〒541 大阪市東区安土町2-30
大阪国際ビル16F
坂本整形外科内 電話(06)266-0666

編集者 坂本徳成 ・ 三橋二良
長橋規男 ・ 瀬戸信夫
長田明

オステオポロシスに



Ca・骨代謝改善 1α -OH-D₃製剤

① **アルファロール** 液
ALFAROL 薬価基準収載 **カプセル**

【適応症】

- 骨粗鬆症(カプセル3 μ gは除く。)
- 下記疾患におけるビタミンD代謝異常に伴う諸症状(低カルシウム血症、テタニー、骨痛、骨病変等)の改善。
慢性腎不全、副甲状腺機能低下症、未熟児(液のみ)、ビタミンD抵抗性クル病・骨軟化症

【包装】

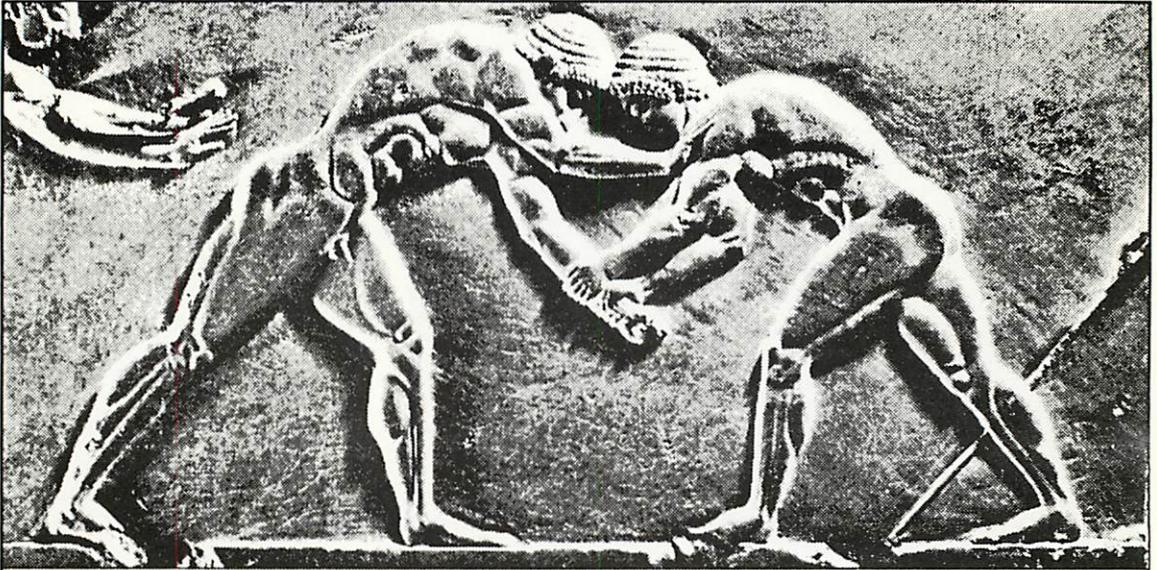
カプセル0.5 μ g:100,500カプセル 液0.5 μ g:10ml
0.25 μ g:100,500カプセル
1 μ g:100,500カプセル
3 μ g:100カプセル

■「使用上の注意」,「用法・用量」は添付文書をご覧ください。



中外製薬

〒104 東京都中央区京橋2-1-9
TEL (03)281-6611



中枢神経障害に起因する

痙性麻痺および頸肩腕症候群・腰痛症に

抗痙縮剤

ムスカラム®

(一般名：塩酸トルペリゾン)

健保適用

●頸肩腕症候群、腰痛症のこり、しびれ、いたみ等の筋緊張性愁訴から脳卒中後遺症、頸部脊椎症等の痙性麻痺による歩きにくさ、つっぱり感まで広い範囲の筋緊張異常に効果が認められています。

●静穏作用(トランキライザー作用)がなくねむ気・脱力感が少ない。またCybexによる判定では、日常動作に支障をきたすような筋力の低下はみられず、むしろやや増加させ、伸展・屈曲の動作が円滑になったという報告もあります。

要指示医薬品

*用法・用量、使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

【適応症】

下記疾患における筋緊張状態の改善

- 頸肩腕症候群
- 腰痛症

下記疾患による痙性麻痺

- 脳卒中後遺症
- 脳性麻痺
- 多発性硬化症
- 頸部脊椎症
- 後縦靭帯骨化症
- 外傷後遺症(脊髄損傷・頭部外傷)
- 術後後遺症(脳・脊髄腫瘍等手術後)
- スモン(SMON)
- 痙性脊髄麻痺
- 筋萎縮性側索硬化症
- 小脳脊髄変性症

【薬価基準】

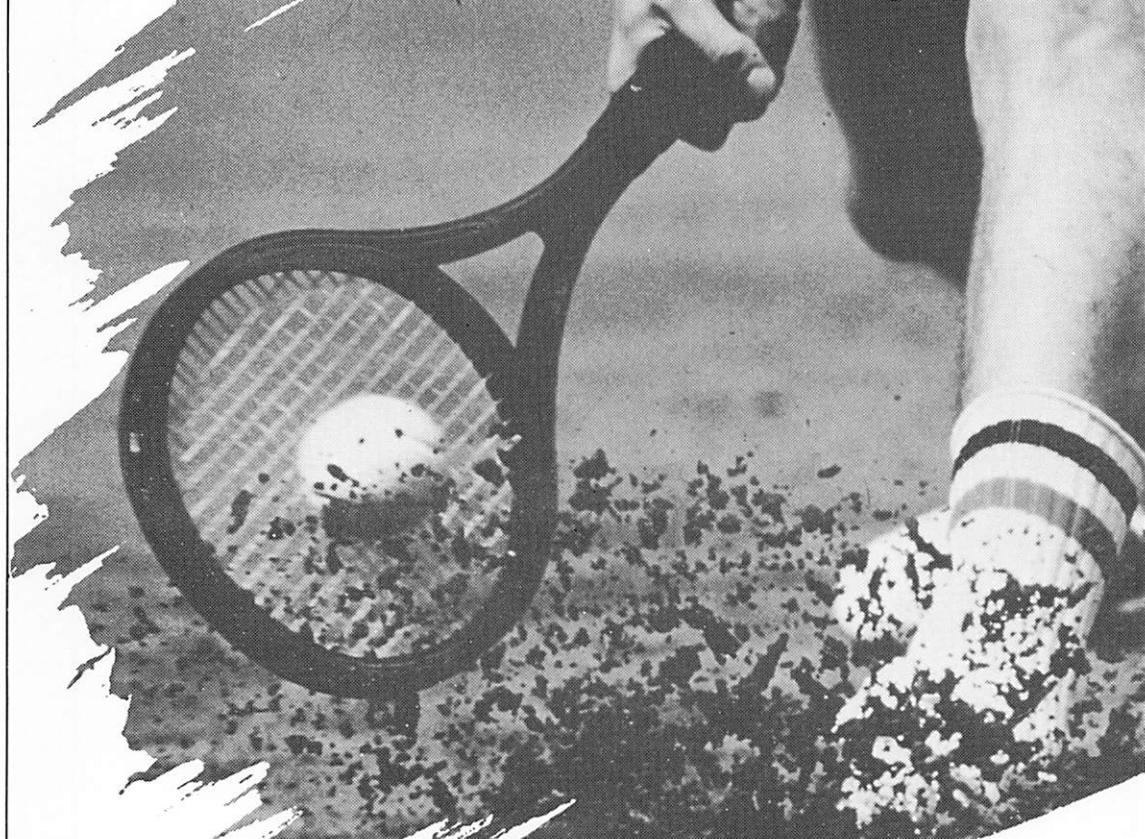
ムスカラム錠(50mg)	1T	39.40円
ムスカラムS錠(50mg)	1T	39.40円



日本化薬株式会社

医薬事業部 東京都千代田区一番町15-5
TEL 03(264)1251

オルヂスに坐剤追加!!



薬価基準・収載

新発売

抗炎症鎮痛解熱剤



劇指

オルヂス坐剤 50/75

〈ケトプロフェン製剤〉

特長

- 慢性関節リウマチに対し、就寝時の投与により朝方のこわばり、腫脹、疼痛などの諸症状の改善を示す。
- 経口投与困難な症例にも使用でき、安定した吸収が得られる。
- 主薬の溶解が優れ、均一な分散性が得られる油脂性基剤の製剤である。

〈効能・効果〉

右記の疾患並びに症状の鎮痛・消炎・解熱／慢性関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、頭/腕症候群、症候性神経痛

〈用法・用量〉

ケトプロフェンとして、通常、成人には1回50～75mgを1回～2回直腸内に挿入。なお、年齢、症状により適宜増減。

〈包装〉

オルヂス坐剤50:100個 オルヂス坐剤75:100個

※詳細については製品添付文書をご参照下さい。

製造発売元



北陸製薬株式会社
福井県勝山市立川町1丁目3-14

提携



R-Pharm社 (フランス)

世界初の合成カルシトニン誘導体製剤

自社開発

エルシトニン[®]

(一般名：エルカトニン)



健保適用

骨粗鬆症における
疼痛の改善に！



【制指】エルシトニン[®]注10単位

■成分

1管1ml中、エルカトニン10エルカトニン単位含有。

■効能・効果

骨粗鬆症における疼痛

高カルシウム血症・
骨ページェット病に！



【制指】エルシトニン[®]注(40単位)

■成分

1管1ml中、エルカトニン40エルカトニン単位含有。

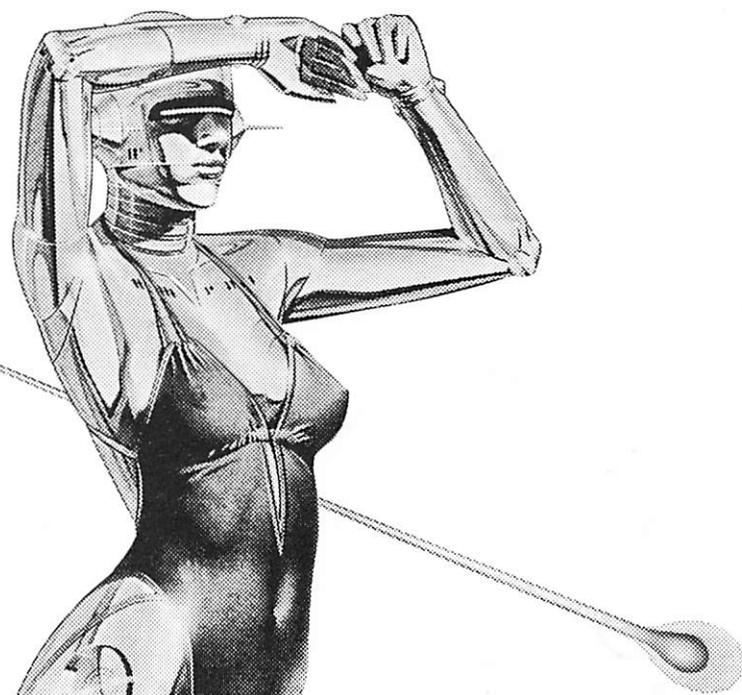
■効能・効果

高カルシウム血症、
骨ページェット病

〈用法・用量〉〈使用上の注意〉等は添付文書をご参照下さい。

 東洋醸造株式会社

疼痛緩解の使者 強い鎮痛、速い鎮痛、そして消炎。



FENAZOX CAPSULES

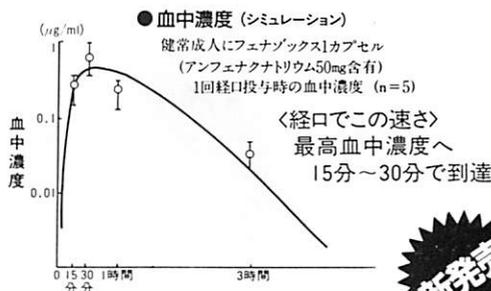
効能・効果

下記の疾患並びに症状の消炎・鎮痛
慢性関節リウマチ、変形性関節症、
腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群
手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・
鎮痛

用法・用量

通常成人は、アンフェナクナトリウム
として1日200mgを4回に分け毎食後
及び就寝前に経口投与する。
頓用する場合は1回50mgを経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

※使用上の注意等については能書をご覧ください。



新発売

鎮痛・抗炎症剤

フェナゾックス®カプセル

(アンフェナクナトリウム)

健保適用

 明治製薬株式会社

発行：大阪臨床整形外科医会